

ひとり親家庭等の支援に関する調査

アンケート調査の結果等

令和8年7月

総務省行政評価局

目 次

1	ひとり親家庭等アンケートの概要	1
(1)	調査目的	
(2)	調査方法	
(3)	調査期間	
(4)	回答状況	
(5)	調査結果の見方	
2	ひとり親家庭等アンケートの結果	
(1)	はじめに	2
(2)	周知・広報について	7
(3)	児童扶養手当の現況届手続、相談について	14
(4)	個別事業について	20
ア	離婚前後家庭支援	
イ	母子・父子自立支援プログラム	
ウ	ひとり親家庭等日常生活支援	
エ	こどもの生活・学習支援	
3	ひとり親家庭等インタビューの概要	36
【参考】	ひとり親家庭等アンケート調査票	37

1 ひとり親家庭等アンケートの概要

(1) 調査目的

「ひとり親家庭等の支援に関する調査」（以下「本調査」という。）は、ひとり親家庭等の支援を実施している地方公共団体における取組状況を調査するとともに、ひとり親家庭等の声をアンケートやインタビューを通じて把握・聴取し、地方公共団体が実施する支援とひとり親家庭等が求める支援にギャップが生じていないか、ひとり親家庭等に必要な情報を届け、支援につなげるための効果的な周知・広報はどのようなものかといったことを明らかにし、困難な状況にあるひとり親家庭等に必要な支援が届くための施策の検討に資することを目的として実施したものである。

このうち、本アンケート（以下「ひとり親家庭等アンケート」という。）は、本調査の一環として、ひとり親家庭等の実態や、ひとり親家庭等への支援についての認識や受け止めを把握するために実施したものである。

(2) 調査方法

本調査の調査対象 28 市区町村のうち、ひとり親家庭等アンケート実施につき協力が得られた 23 市区町村において、市区町村がひとり親家庭等に送付する児童扶養手当の審査結果にひとり親家庭等アンケートの二次元コードを印字したはがきサイズの紙を同封して配布し、当該二次元コードから、ひとり親家庭等がオンライン上で回答する方式とした。

(3) 調査期間

令和 7 年 10 月から 11 月までの間

(4) 回答状況

23 市区町村における児童扶養手当の審査結果送付対象世帯 69,442 世帯のうち、2,868 世帯のひとり親家庭等から回答があった。

(5) 調査結果の見方

- ・ 「N」は、各設問における有効回答数である。
- ・ 複数回答の設問の場合、各表中の回答数の合計は N と一致しない。
- ・ 調査結果に基づく比率は小数第二位を四捨五入して算出したため、合計が 100%にならない場合がある。

2 ひとり親家庭等アンケートの結果

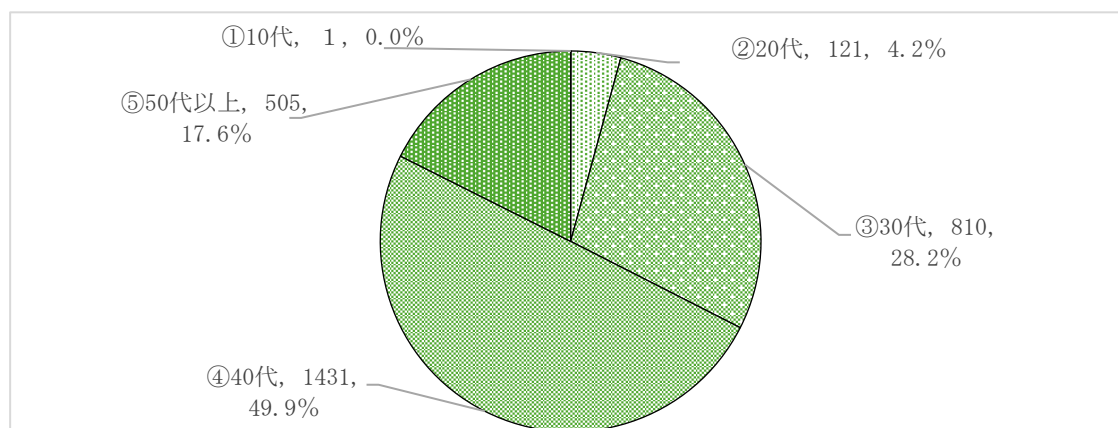
(1) はじめに

問1 現在のあなたの年齢を教えてください。(1つだけ選択)

回答したひとり親家庭等の年齢については、「40代」(選択肢④)が49.9%と最も多く、次いで、「30代」(選択肢③)が28.2%、「50代」(選択肢⑤)が17.6%であった。

N=2,868

(単位：人、%)

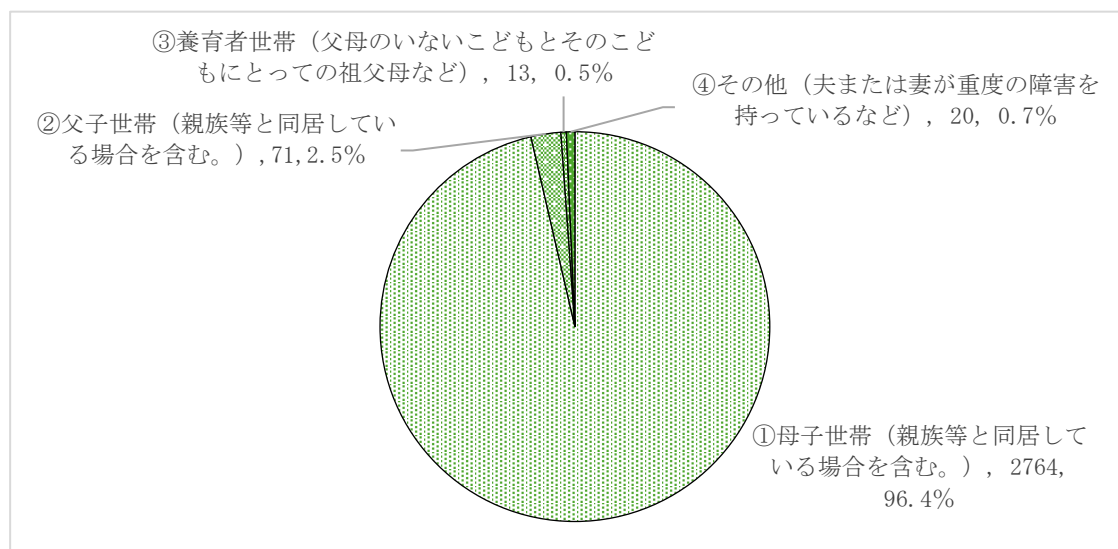


問2 あなたのご家庭は、どの世帯に当てはまりますか。(1つだけ選択)

回答したひとり親家庭等の世帯の種類については、「母子世帯」(選択肢①)が96.4%、「父子世帯」(選択肢②)が2.5%であった。

N=2,868

(単位：人、%)

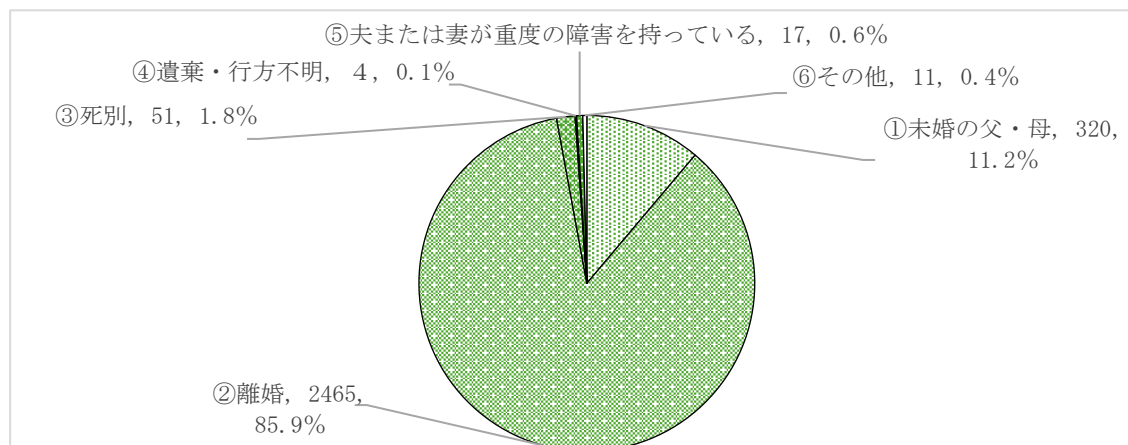


問3 あなたがひとり親（養育者）になった理由を教えてください。（1つだけ選択）

回答したひとり親家庭等が、ひとり親家庭等となった理由は、「離婚」（選択肢②）が85.9%と最も多く、次いで、「未婚の父・母」（選択肢①）が11.2%、「死別」（選択肢③）が1.8%であった。

N=2,868

（単位：人、%）

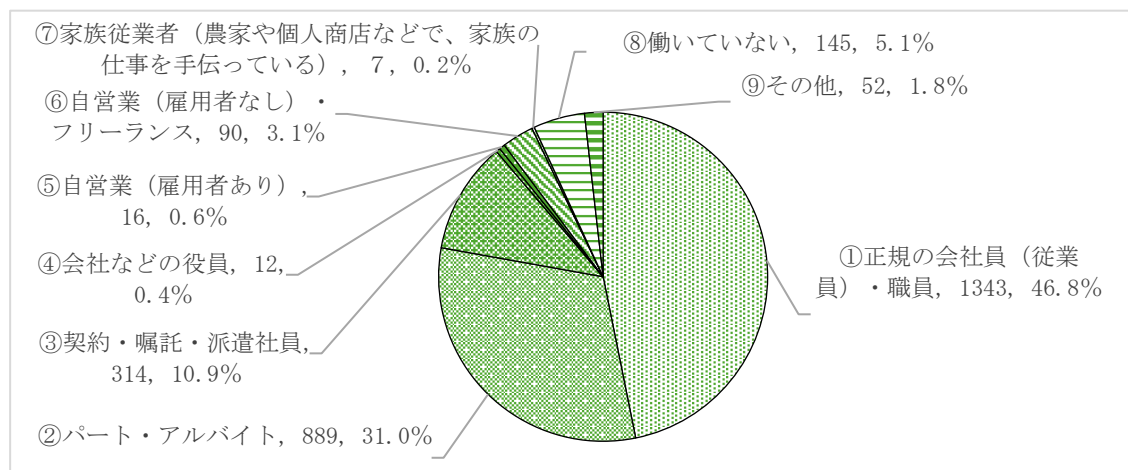


問4 あなたの雇用形態（収入の最も多い仕事）を教えてください。（1つだけ選択）

回答したひとり親家庭等の雇用形態は、「正規の会社員（従業員）・職員」（選択肢①）が46.8%と最も多く、次いで、「パート・アルバイト」（選択肢②）が31.0%、「契約・嘱託・派遣社員」（選択肢③）が10.9%、「働いていない」（選択肢⑧）が5.1%であった。

N=2,868

（単位：人、%）

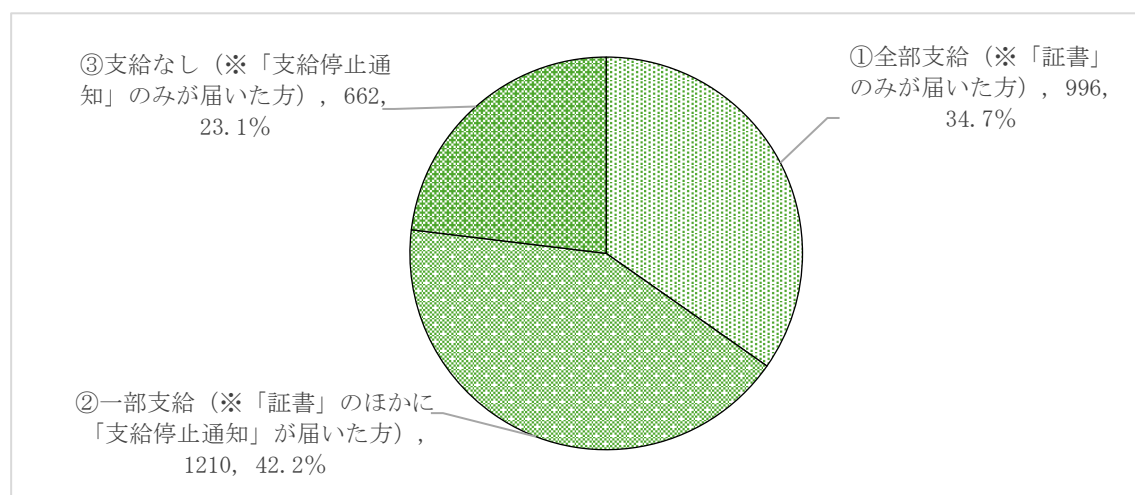


問5 あなたの今回の児童扶養手当の審査結果を教えてください。(1つだけ選択)

回答したひとり親家庭等の今回(令和7年度)の児童扶養手当の審査結果は、「一部支給」(選択肢②)が42.2%と最も多く、次いで、「全部支給」(選択肢①)が34.7%、「支給なし」(選択肢③)が23.1%であった。

N=2,868

(単位:人、%)



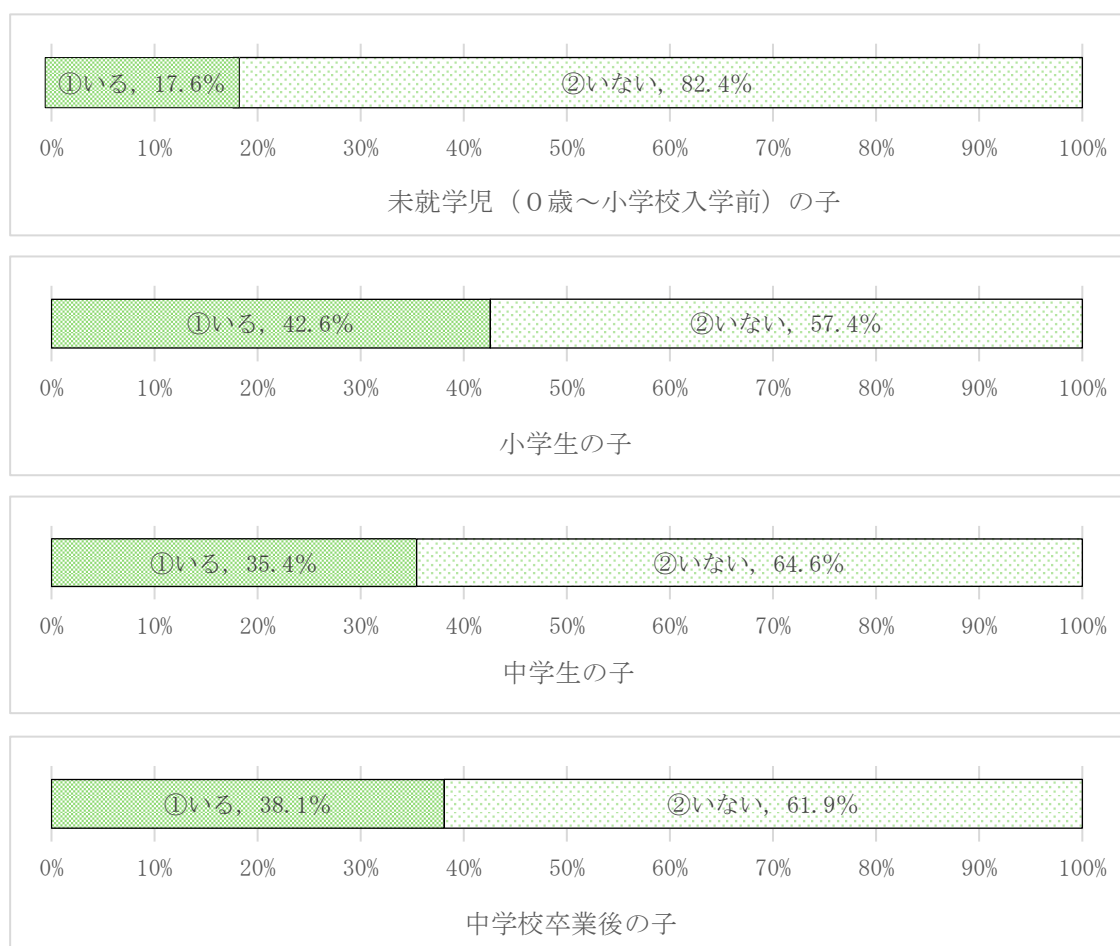
問6～9 あなたが養育しているこどもに未就学児（0歳～小学校入学前）、小学生、中学生、中学校卒業後の子はいますか。（1つだけ選択）

回答したひとり親家庭等のうち、

- 未就学児（0歳～小学校入学前）の子がいる者は、17.6%
 - 小学生の子がいる者は、42.6%
 - 中学生の子がいる者は、35.4%
 - 中学校卒業後の子がいる者は、38.1%
- であった。

N=2,868

（単位：％）

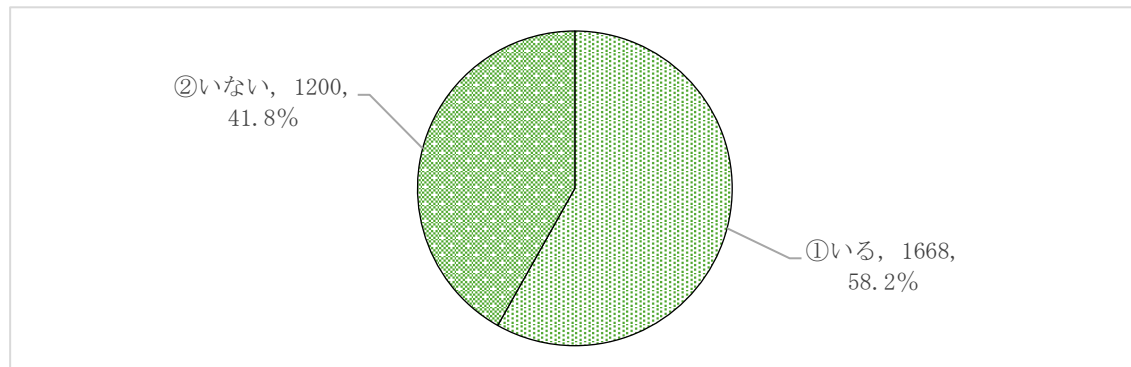


問 10 あなたには、緊急的にこどもを預けたり、家事の手伝いを頼めたりできる人（同居している親族、近隣の友人など）はいますか。（1つだけ選択）

回答したひとり親家庭等のうち、緊急的にこどもを預けたり、家事の手伝いを頼むことができる人が「いる」と回答した者は 58.2%であった。

N=2,868

(単位：人、%)

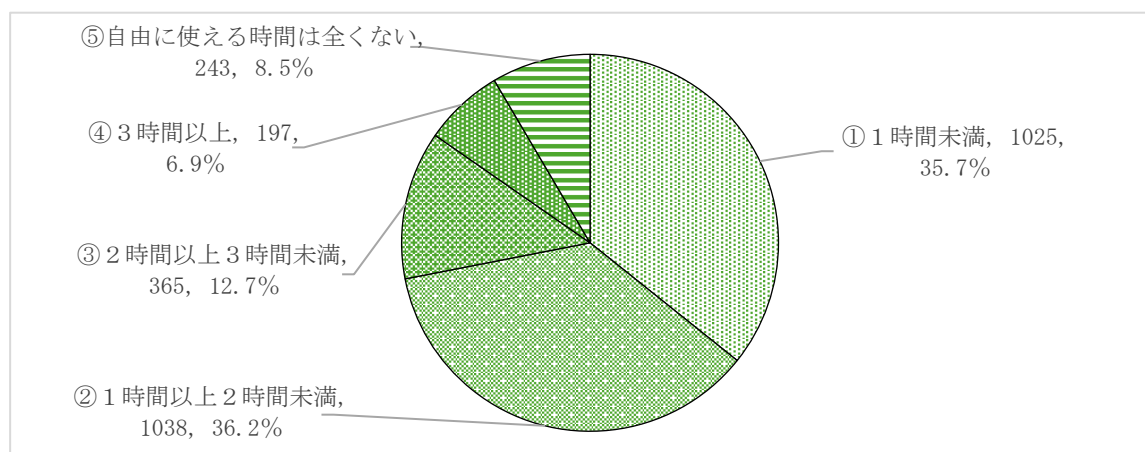


問 11 普段の1日（平日）の生活の中で、テレビやスマホをくつろいで見られる時間、ご自分の趣味や調べ物をするなど自由に使える時間はどの程度あると感じていますか。（1つだけ選択）

回答したひとり親家庭等が感じている、普段の1日（平日）の生活の中で自由に使える時間は、「1時間以上2時間未満」（選択肢②）が 36.2%と最も多く、次いで、「1時間未満」（選択肢①）が 35.7%であるほか、「自由に使える時間は全くない」（選択肢⑤）が 8.5%であり、全体の8割以上が、2時間未満しかないと感じていた。

N=2,868

(単位：人、%)



(2) 周知・広報について

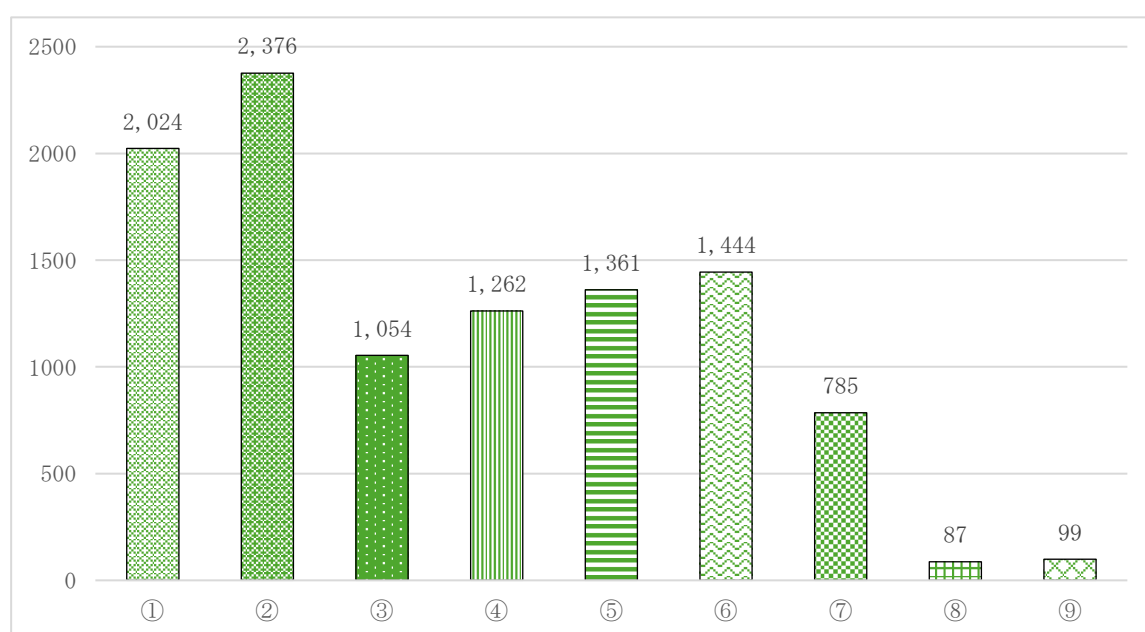
問 12 あなたがひとり親となったとき（当時）に必要としていた情報はどのようなものでしたか。（複数回答可）

※必要とする情報がなかった場合や、覚えていない場合は、無回答で構いません。

回答したひとり親家庭等が、当時必要としていた情報としては、「お金に関する支援」（選択肢②）が最も多く（全回答者数 2,868 人のうちの 2,376 人）、次いで、「児童扶養手当の請求手続」（選択肢①）が多かった（同 2,024 人）。

N=2,868

（単位：人）



- ①児童扶養手当の請求手続
- ②お金に関する支援（児童扶養手当以外の医療費の補助や保育料の軽減など）
- ③仕事（仕事を見つける・転職する）に関する支援
- ④住居に関する支援
- ⑤こどもの預け先（保育園・幼稚園・放課後児童クラブなど）
- ⑥こどもの教育費や学習に関する支援
- ⑦養育費の確保・面会交流の取決めについての支援
- ⑧遺族年金の請求手続
- ⑨その他

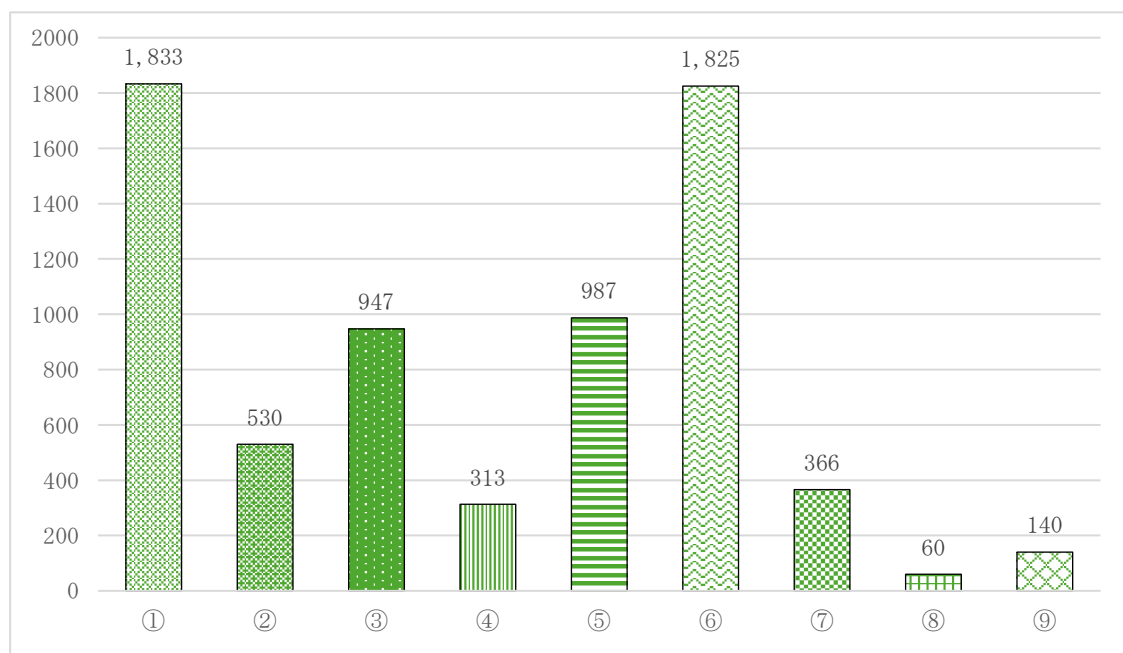
問13 あなたが、現在、必要としている情報はどのようなものですか。(複数回答可)

※必要とする情報がない場合は、無回答で構いません。

回答したひとり親家庭等が、現在必要としている情報としては、問12(ひとり親家庭等になったときに必要としていた情報)と同様、「お金に関する支援」(選択肢①)が最も多いが、問12と比べると、「こどもの教育費や学習に関する支援」(選択肢⑥)と回答した者が多くなっており、こどもの成長に伴い、ライフステージに応じて必要とする情報が変遷していくと考えられる。

N=2,868

(単位：人)



- ①お金に関する支援（児童扶養手当以外の医療費の補助や保育料の軽減など）
- ②仕事（仕事を見つける・転職する）に関する支援
- ③住居に関する支援
- ④こどもの預け先（保育園・幼稚園・放課後児童クラブなど）
- ⑤自分が病気や多忙なときの家事や育児の手伝いなどの支援
- ⑥こどもの教育費や学習に関する支援
- ⑦養育費の確保・面会交流の取決めについての支援
- ⑧遺族年金の請求手続
- ⑨その他

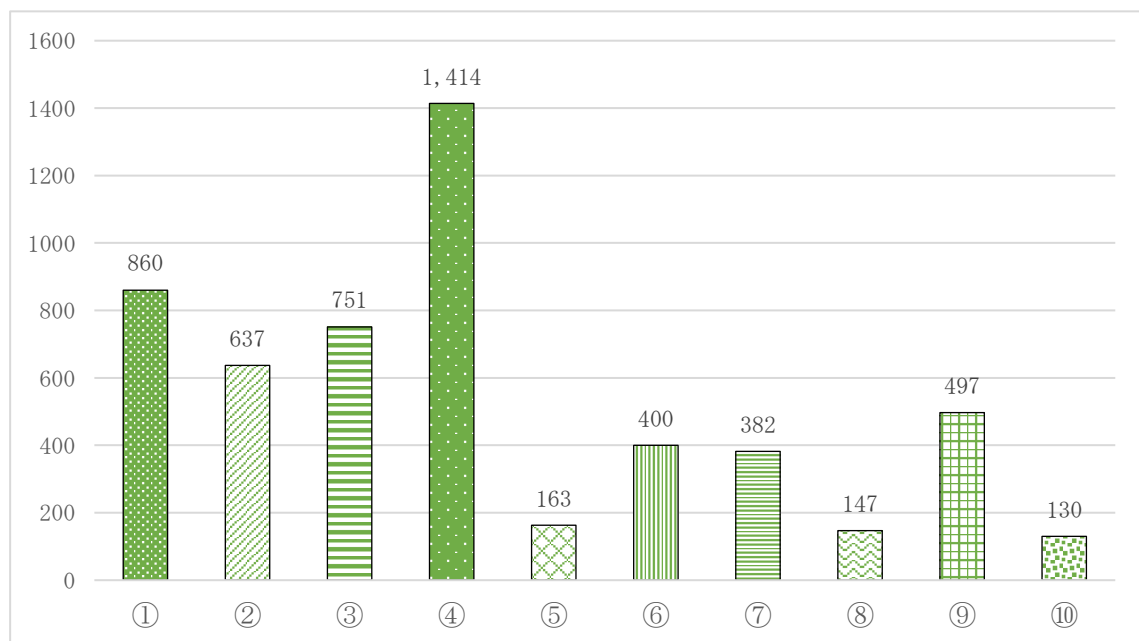
問 14 普段、あなたがひとり親への支援（手当や給付金、就業支援や相談会・セミナーの開催など）に関する情報を得たいと思うときはどのように探しますか。（複数選択可）

※探す機会がない場合は、無回答で構いません。

回答したひとり親家庭等が情報を探す手段としては、約半数（全回答者数 2,868 人のうちの 1,414 人）が「市区町村のホームページを確認する」（選択肢④）と回答した。

N=2,868

（単位：人）



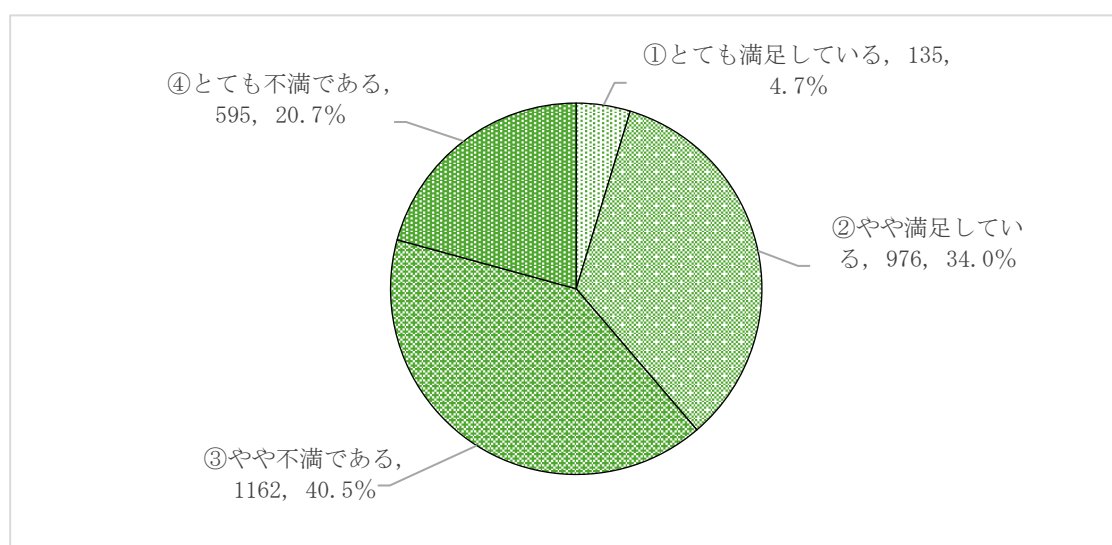
- ①市区町村の窓口（電話や直接訪問して）問い合わせる
- ②広報誌（紙冊子のもの）を確認する
- ③市区町村が作成したひとり親支援についてのパンフレットやチラシ（紙のもの）を確認する
- ④市区町村のホームページ（電子データとして掲載されている広報誌やパンフレット、チャットボットを含む）を確認する
- ⑤市区町村の公式X、Instagramを確認する
- ⑥市区町村の公式LINEやメルマガ、アプリの配信内容を確認する
- ⑦子育て・ひとり親支援のNPOなどの団体に問い合わせたり、民間の子育て支援のホームページを確認する
- ⑧こどもが通っている保育園や学校などに問い合わせる
- ⑨家族・友人・知人に相談する
- ⑩ その他

問 15 あなたは、ひとり親の方への支援に関して市区町村が行っている周知・広報について、どう思っていますか。(1つだけ選択)

回答したひとり親家庭等を感じる、居住市区町村の周知・広報に対する満足度については、満足している者(「とても満足している」(選択肢①) 4.7%+「やや満足している」(選択肢②) 34.0%=38.7%)よりも、不満と感じている者(「やや不満である」(選択肢③) 40.5%+「とても不満である」(選択肢④) 20.7%=61.2%)の方が多かった。

N=2,868

(単位：人、%)

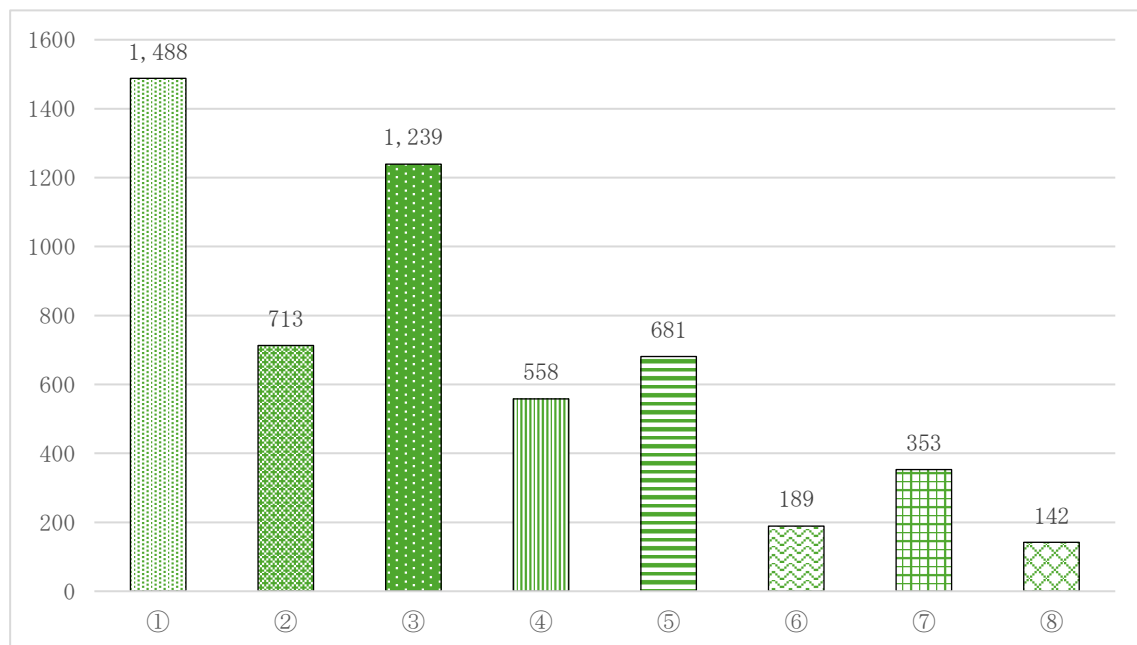


問 16 市区町村が作成しているひとり親支援に関するパンフレット（チラシ、リーフレット等含む。紙のもの）について、どのようなところを改善した方が良いと思いますか。（複数選択可）

回答したひとり親家庭等を感じる、居住市区町村が作成するパンフレットの改善点については、支援を「利用できる条件や金額の説明などをくわしく書いてほしい」（選択肢①）が最も多く（全回答者数 2,868 人のうちの 1,488 人）、次いで、「こどもの年齢に応じた支援を順番で紹介するなど、情報を探しやすくしてほしい」（選択肢③、同 1,239 人）、「専門的な用語が多いなど、説明が分かりづらいので、分かりやすく書いてほしい」（選択肢②、同 713 人）が多かった。

N=2,868

（単位：人）



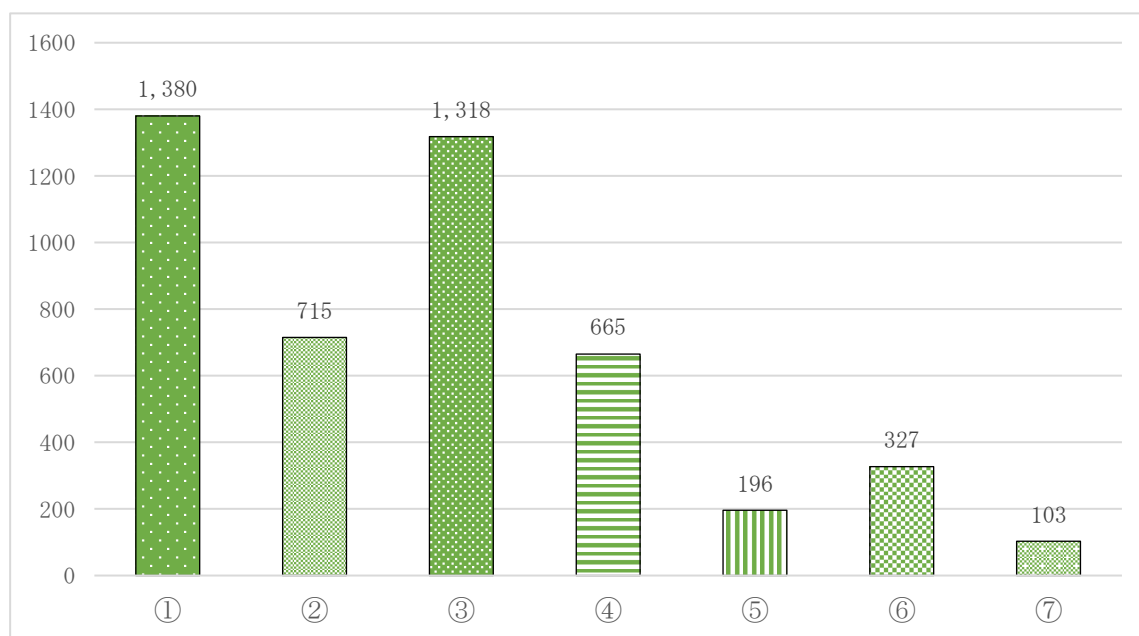
- ①利用できる条件や金額の説明などをくわしく書いてほしい
- ②専門的な用語が多いなど、説明が分かりづらいので、分かりやすく書いてほしい
- ③こどもの年齢に応じた支援を順番で紹介するなど、情報を探しやすくしてほしい
- ④市区町村のホームページなどを確認することができるよう、QR コードを付けてほしい
- ⑤市区町村の窓口でしか受け取れないので、定期的に送ったり、市区町村の窓口以外の場所にも置いてほしい
- ⑥載っている情報が古いので、内容の更新をしてほしい
- ⑦住んでいる市区町村ではパンフレットを作っていない、パンフレットについて知らない
- ⑧その他

問 17 ひとり親支援に関する情報が載っている市区町村のホームページについて、どのようなところを改善した方が良いと思いますか。（複数選択可）
 ※特に改善してほしいところがない場合は、無回答で構いません。

回答したひとり親家庭等を感じる、居住市区町村のホームページの改善点については、問 16（パンフレットの改善点）と同様に「利用できる条件や金額の説明などをくわしく書いてほしい」（選択肢①）が最も多く（全回答者数 2,868 人のうちの 1,380 人）、次いで、「自分に必要な情報がどこに載っているか分からないので、探しやすくしてほしい」（選択肢③）が多かった（同 1,318 人）。

N=2,868

（単位：人）



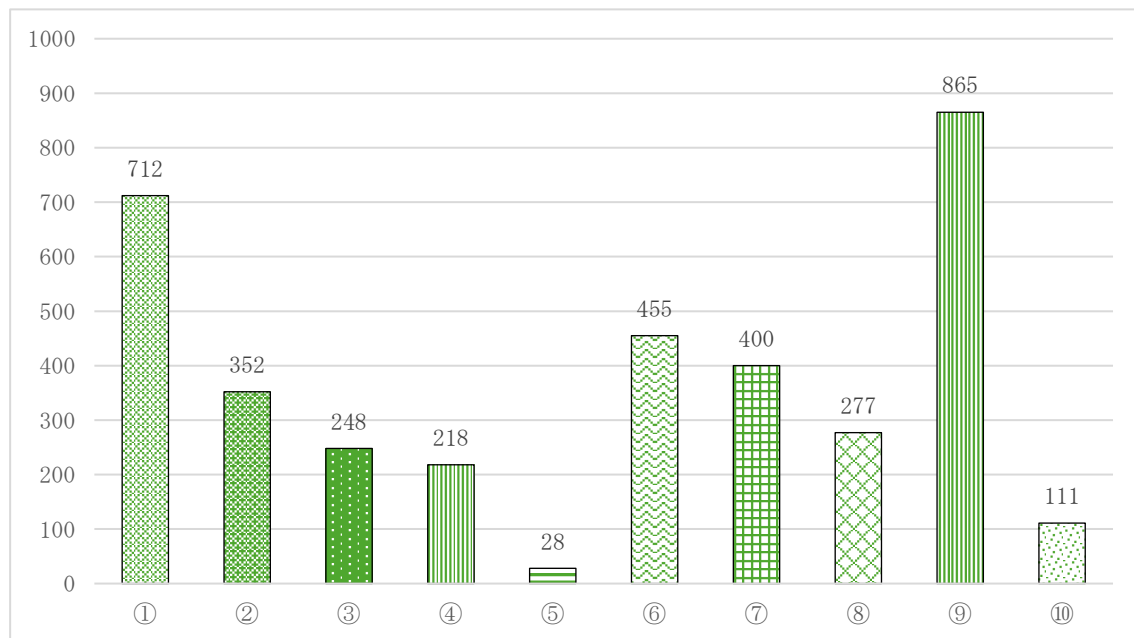
- ①利用できる条件や金額の説明などをくわしく書いてほしい
- ②専門的な用語が多いなど、説明が分かりづらいので、分かりやすく書いてほしい
- ③自分に必要な情報がどこに載っているか分からないので、探しやすくしてほしい
- ④関係する支援を探すときに不便なので、他の支援へのリンクを載せてほしい
- ⑤載っている情報が古いので、内容の更新をしてほしい
- ⑥ホームページを見たことがない
- ⑦その他

問 18 ひとり親支援に関する情報を配信する市区町村の公式 LINE やメルマガ、アプリについて、どのようなところを改善した方が良いと思いますか。（複数選択可）
 ※特に改善してほしいところがない場合は、無回答で構いません。

回答したひとり親家庭等を感じる、居住市区町村の公式 LINE やメルマガ、アプリの改善点については、「住んでいる市区町村では配信をしていない、配信しているか知らない」（選択肢⑨）が最も多く（全回答者数 2,868 人のうちの 865 人）、次いで、支援を「利用できる条件や金額の説明などをくわしく書いてほしい」（選択肢①）が多かった（同 712 人）。

N=2,868

（単位：人）



- ①利用できる条件や金額の説明などをくわしく書いてほしい
- ②専門的な用語が多いなど、説明が分かりづらいので、分かりやすく書いてほしい
- ③1件ごとの文量が多く読みにくいので、文量を少なくしてほしい
- ④配信の回数を増やしてほしい
- ⑤配信の回数を減らしてほしい
- ⑥多くの情報を送るのではなく、ひとり親支援についての情報のみを送ってほしい
- ⑦情報を送るタイミング（給付金の支給時やこどもの就学時など）を絞ってほしい
- ⑧配信していることは知っているが、利用したことがない
- ⑨住んでいる市区町村では配信をしていない、配信しているか知らない
- ⑩その他

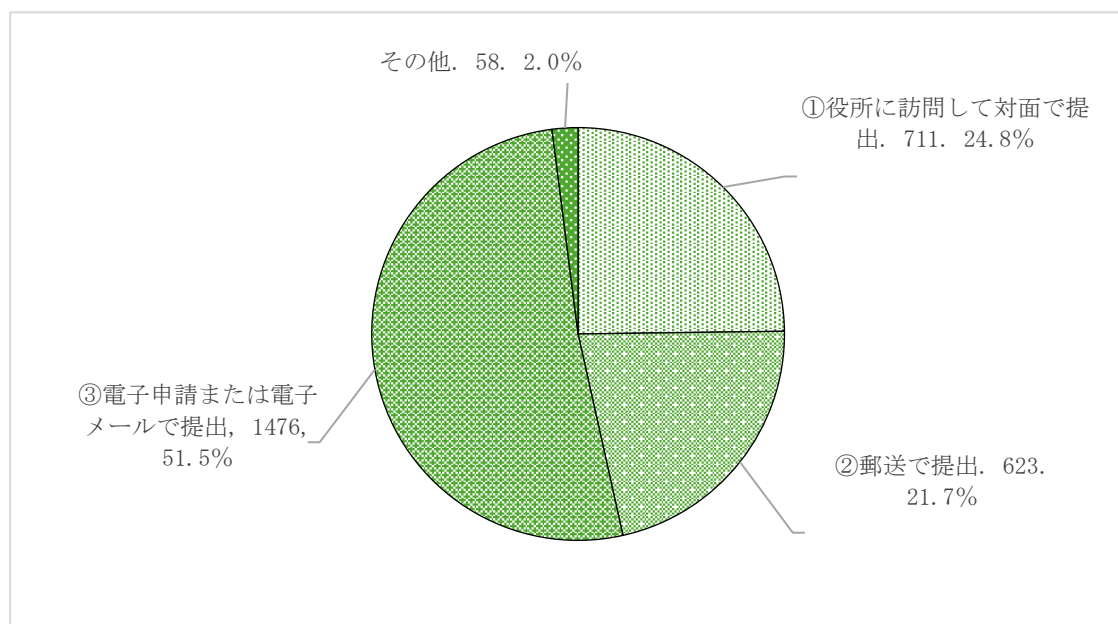
(3) 児童扶養手当の現況届手続、相談について

問 19 児童扶養手当の現況届の提出について伺います。あなたは、どのような提出方法が望ましいと思いますか。(1つだけ選択)

児童扶養手当の現況届の提出方法については、回答したひとり親家庭等の半数以上(全回答者数 2,868 人のうちの 1,476 人)が「電子申請または電子メールで提出」(選択肢③)を希望していた。

N=2,868

(単位：人、%)

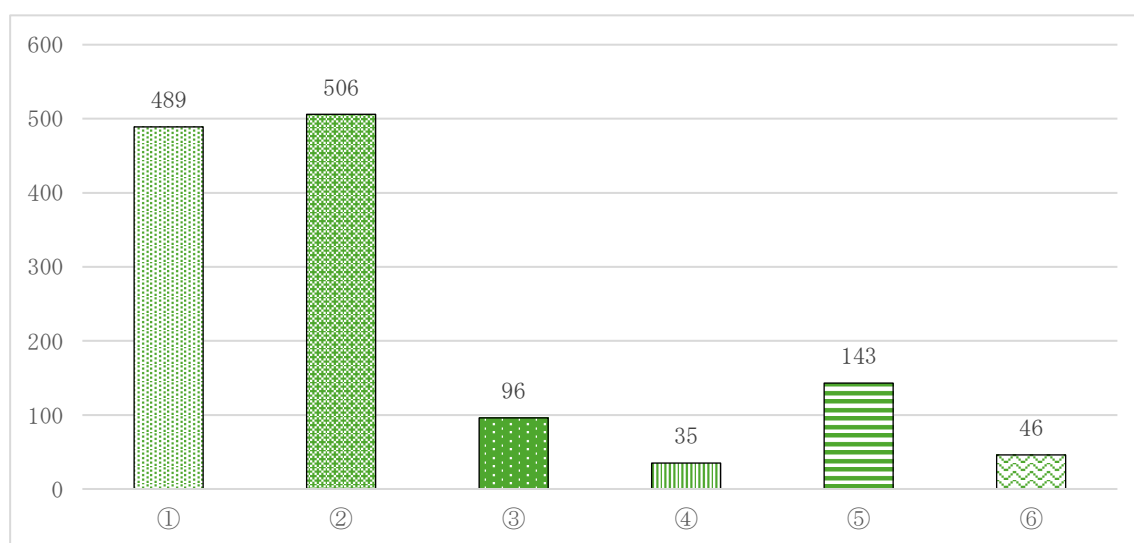


問 20 （問 19 で「役所に訪問して対面で提出」（選択肢①）と回答した者に対し、）あなたが、対面での提出が望ましいと思う理由を教えてください。（複数選択可）

児童扶養手当の現況届について、回答したひとり親家庭等が対面での提出を希望する理由としては、「書類の修正や再提出をしたくないから」（選択肢②）が最も多く（回答者数 711 人のうちの 506 人）、次いで、「書類の書き方や提出すべき書類が分からず、対面で相談しながら記載・提出したいから」（選択肢①）が多かった（同 489 人）。

N=711

（単位：人）



- ①書類の書き方や提出すべき書類が分からず、対面で相談しながら記載・提出したいから
- ②書類の修正や再提出をしたくない（1回の事務で終わらせたい）から
- ③郵送や電子申請・電子メールで個人情報を送ることが嫌・不安だから
- ④郵送や電子申請・電子メールで提出することが面倒だから
- ⑤現況届の事務と併せて、日常生活への支援などさまざまな相談をしたいから
- ⑥その他

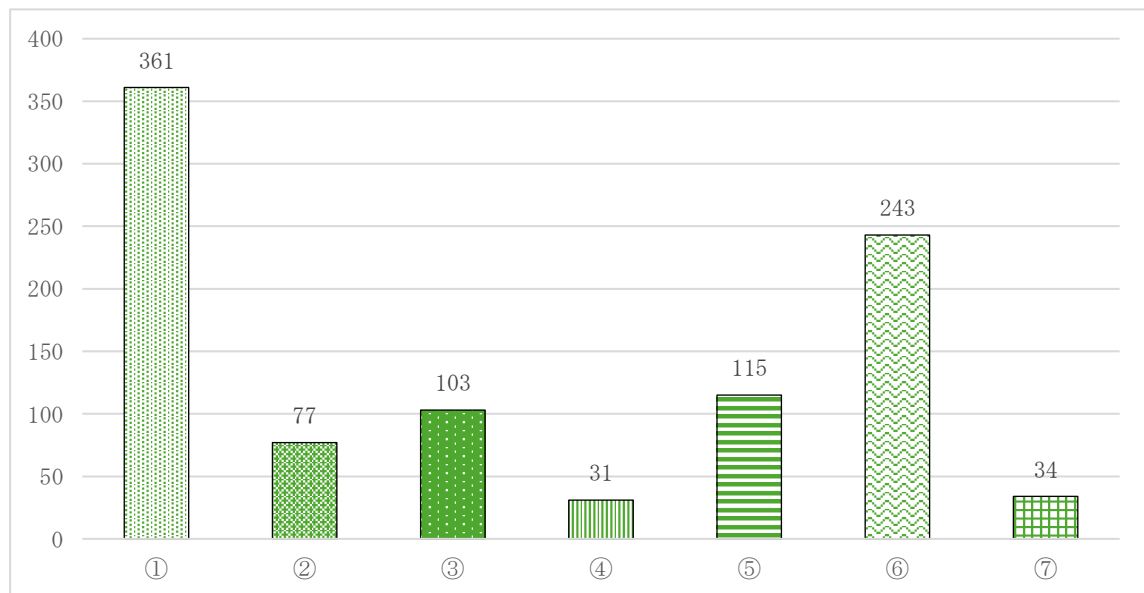
問 21 （問 19 で「役所に訪問して対面で提出」（選択肢①）と回答した者に対し、）あなたは、現況届を対面で提出するに当たって、市区町村に対して希望・要望はありますか。（複数選択可）

※特に希望・要望がない場合は、無回答で構いません。

児童扶養手当の現況届を対面で提出するに当たって、回答したひとり親家庭等が市区町村に希望することとしては、「対応時間を延長してほしい」（選択肢①）が最も多く（回答者数 711 人のうちの 361 人）、次いで、「適切な職員・相談員を配置してほしい」（選択肢⑥）が多かった（同 243 人）。

N=711

（単位：人）



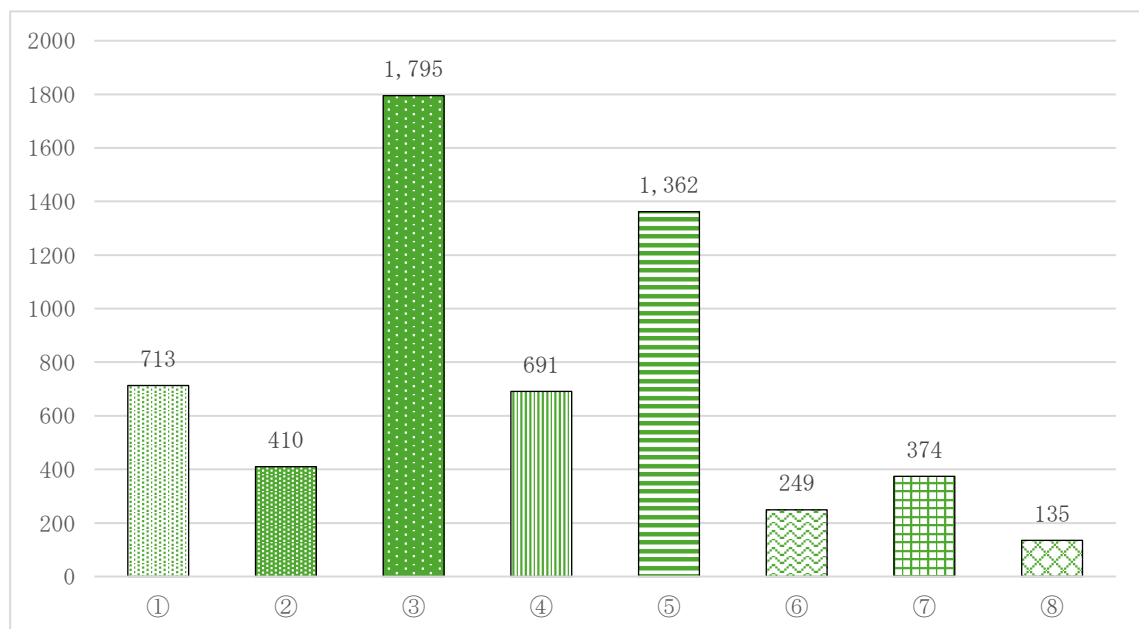
- ①対応時間を延長（平日夜間や土日でも対応が可能となるように）してほしい
- ②受付時間を予約できるようにしてほしい
- ③受付場所を拡充（特設会場を設置するなど）してほしい
- ④対面で手続きしている間に子どもを預かってほしい
- ⑤プライバシーに配慮した対面場所（別室を用意する、パーテーションで仕切るなど）を整備してほしい
- ⑥適切な職員・相談員（相談者と同性の人や、ひとり親支援に詳しい人など）を配置してほしい
- ⑦その他

問 22 （問 19 で「郵送で提出」（選択肢②）又は「電子申請または電子メールで提出」（選択肢③）と回答した者に対し、）あなたが、郵送または電子申請・電子メールでの提出が望ましいと思う理由を教えてください。（複数選択可）

児童扶養手当の現況届について、郵送又は電子での提出を希望する理由としては、「自分の都合に合わせて、時間を気にせずにいつでも提出できるから」（選択肢③）が最も多く（問 19 で「郵送で提出」（選択肢②）と回答した 623 人＋「電子申請または電子メールで提出」（選択肢③）と回答した 1,476 人＝2,099 人のうちの 1,795 人）、次いで、「役所に行くことが負担だから」（選択肢⑤）が多かった（同 1,362 人）。

N=2,099

（単位：人）



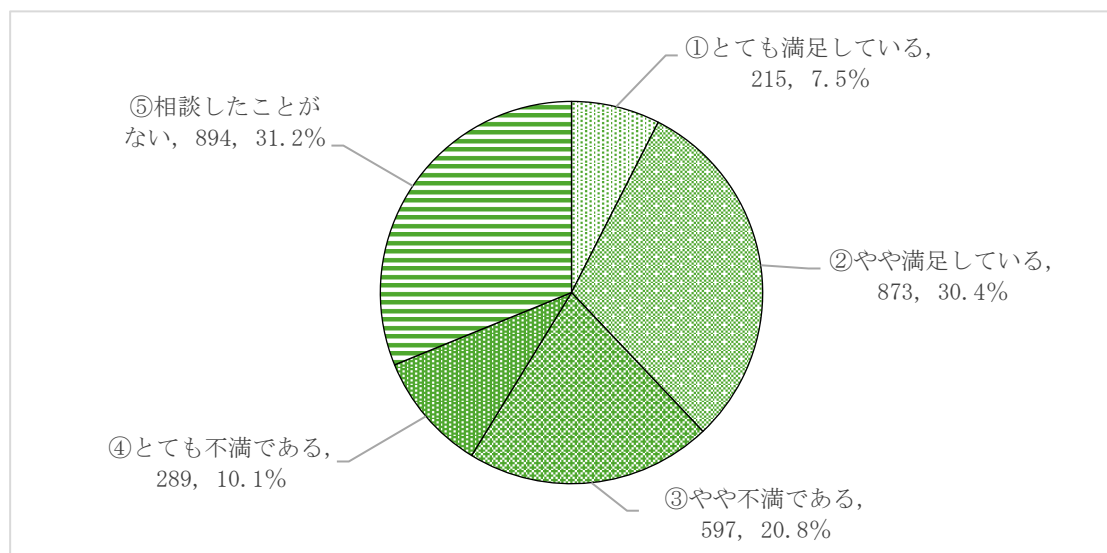
- ①これまでと収入や生活状況に変化がなく、対面で提出する必要があると思うから
- ②書き方や提出書類に不明なところがなく、対面で提出する必要があると思うから
- ③自分の都合に合わせて、時間を気にせずにいつでも提出できるから
- ④こどもの面倒をみながらでも提出できるから
- ⑤役所に行くことが負担だから
- ⑥対面で個人的な生活状況を質問されないことがないから
- ⑦手続をしているところを、周囲に見られなくて済むから
- ⑧その他

問 23 市区町村で行っているひとり親支援に関する相談対応（現況届の提出の際に併せて実施される相談も含みます。）について伺います。あなたは、市区町村の相談対応について、どう思っていますか。（1つだけ選択）

回答したひとり親家庭等を感じる、居住市区町村の相談対応に対する満足度については、満足している（「とても満足している」（選択肢①）7.5%＋「やや満足している」（選択肢②）30.4%＝37.9%）という回答が、不満である（「やや不満である」（選択肢③）20.8%＋「とても不満である」（選択肢④）10.1%＝30.9%）よりも多かった。

N=2,868

（単位：人、％）



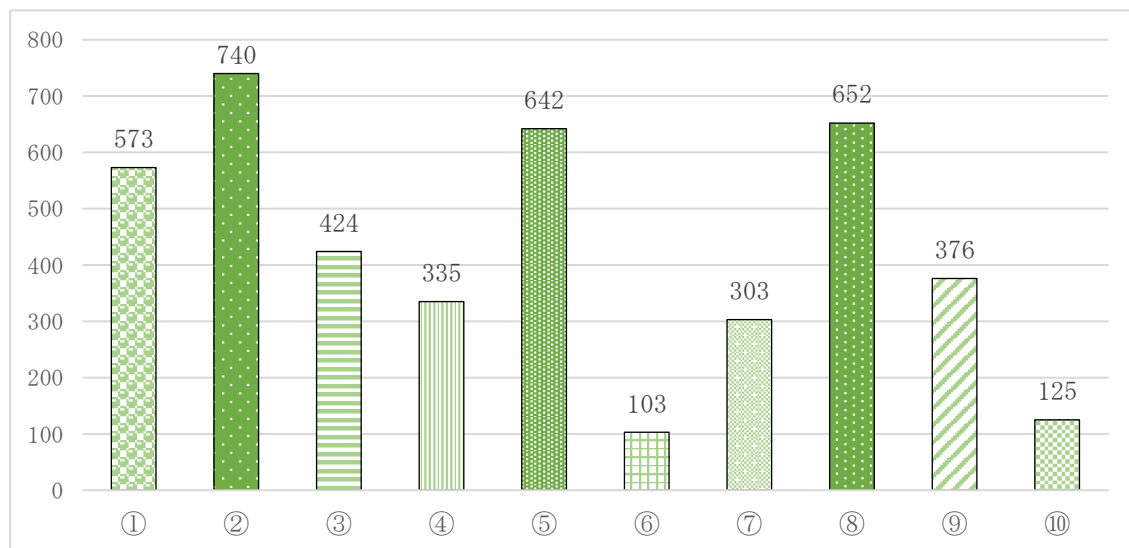
問 24 あなたは、市区町村の相談対応について、どのようなところを改善した方が良く
と思いますか。（複数選択可）

※特に改善してほしいところがない場合は、無回答で構いません。

回答したひとり親家庭等を感じる、居住市区町村の相談対応の改善点については、「土日や夜間でも相談できるようにしてほしい」（選択肢②）が最も多く（全回答者数 2,868 人のうちの 740 人）、次いで、「適切な相談員を配置してほしい」（選択肢⑧、同 652 人）、「メールやチャットで時間を気にせず対応できるようにしてほしい」（選択肢⑤、同 642 人）、「自分のニーズに合った具体的な提案をしてほしい」（選択肢①、同 573 人）の順に多かった。

N=2,868

（単位：人）



- ①自分のニーズに合った具体的な提案をしてほしい
- ②土日や夜間でも相談できるようにしてほしい
- ③相談しやすい場所（家や駅の近くなど）に相談窓口を開設してほしい
- ④電話やオンライン通話でも相談できるようにしてほしい
- ⑤メールやチャット（LINE など）で時間を気にせず対応できるようにしてほしい
- ⑥相談している間に子どもを預かってほしい
- ⑦プライバシーに配慮した相談場所（別室を用意する、パーテーションで仕切るなど）を整備してほしい
- ⑧適切な相談員（相談者と同性の人や、ひとり親支援に詳しい人など）を配置してほしい
- ⑨市区町村の職員だけでなく、ハローワークや税務署、弁護士などとも連携して相談できるようにしてほしい
- ⑩その他

(4) 個別事業について

ア 離婚前後家庭支援

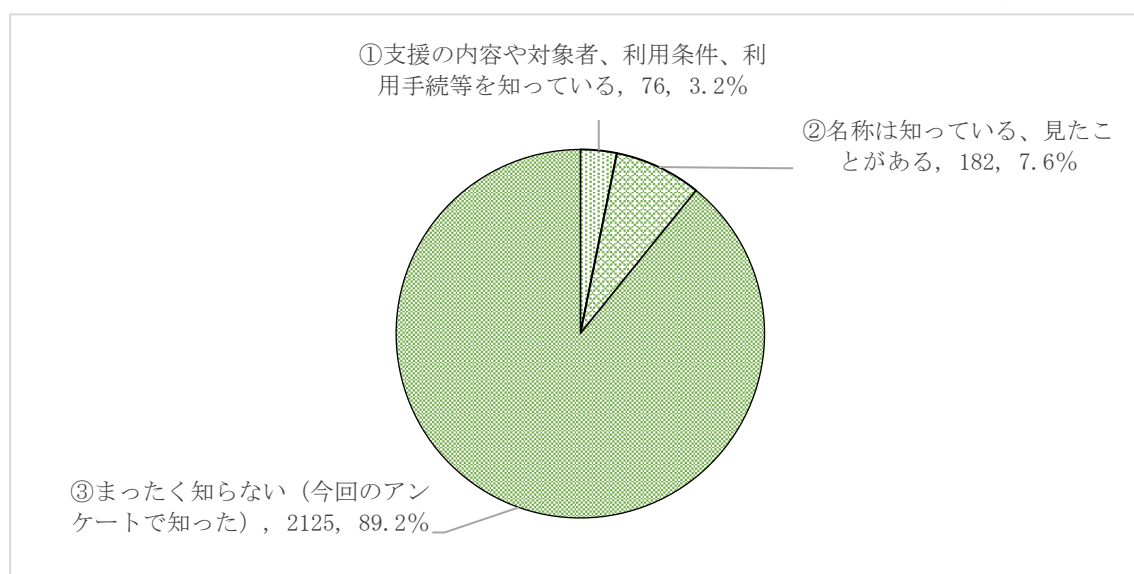
問 25 あなたは、「離婚前後家庭支援」がどのような支援か、知っていましたか。(1つだけ選択)

「離婚前後家庭支援」を実施している市区町村に居住するひとり親家庭等において、同事業の認知度については、「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」(選択肢③)と回答した者が約9割（回答者数2,383人のうちの2,125人）であった。

N=2,383

(※全回答者2,868人のうち、「離婚前後家庭支援」を実施している市区町村に居住する2,383人)

(単位：人、%)

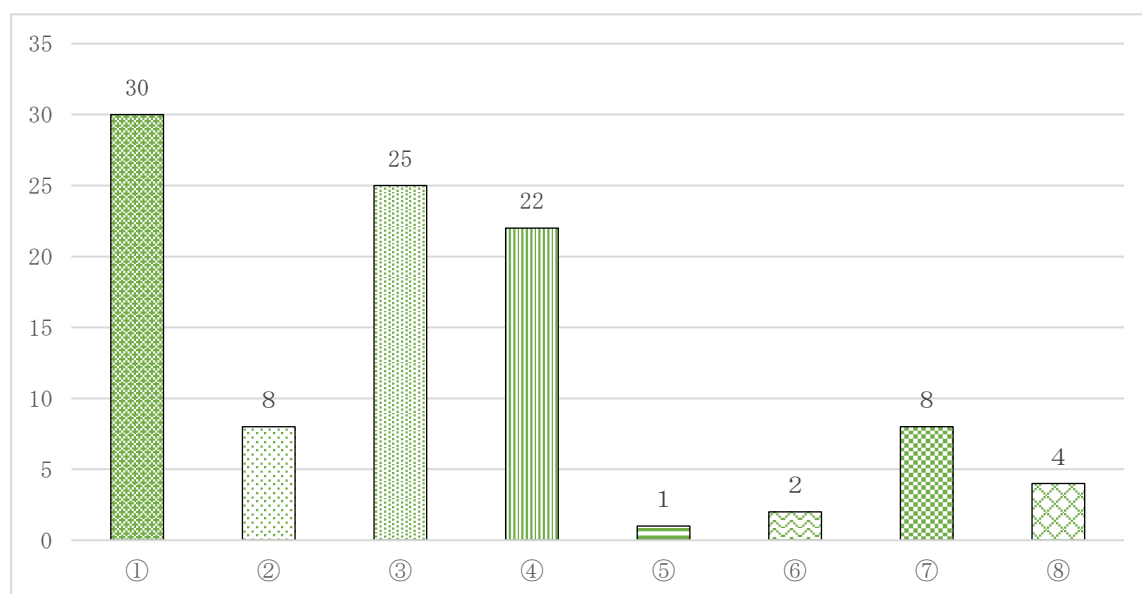


問26 (問25で「支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている」(選択肢①)と回答した者に対し、)「離婚前後家庭支援」について、どのような機会に知りましたか(複数選択可)

「離婚前後家庭支援」を「知っている」と回答した76人が同事業を知ったきっかけとしては、「市区町村の職員との相談・面談」(選択肢①)と回答した者が最も多かった(回答者数76人のうちの30人)。

N=76

(単位：人)



- ①市区町村の職員との相談・面談
- ②市区町村の広報誌(紙冊子のもの)
- ③窓口などで配布されたパンフレットやチラシ(紙のもの)
- ④市区町村ホームページ(電子データとして掲載されている広報誌やパンフレットも含む)
- ⑤市区町村の公式X、Instagram
- ⑥市区町村の公式LINE、メルマガ、公式アプリの配信
- ⑦家族・友人・知人の紹介
- ⑧その他

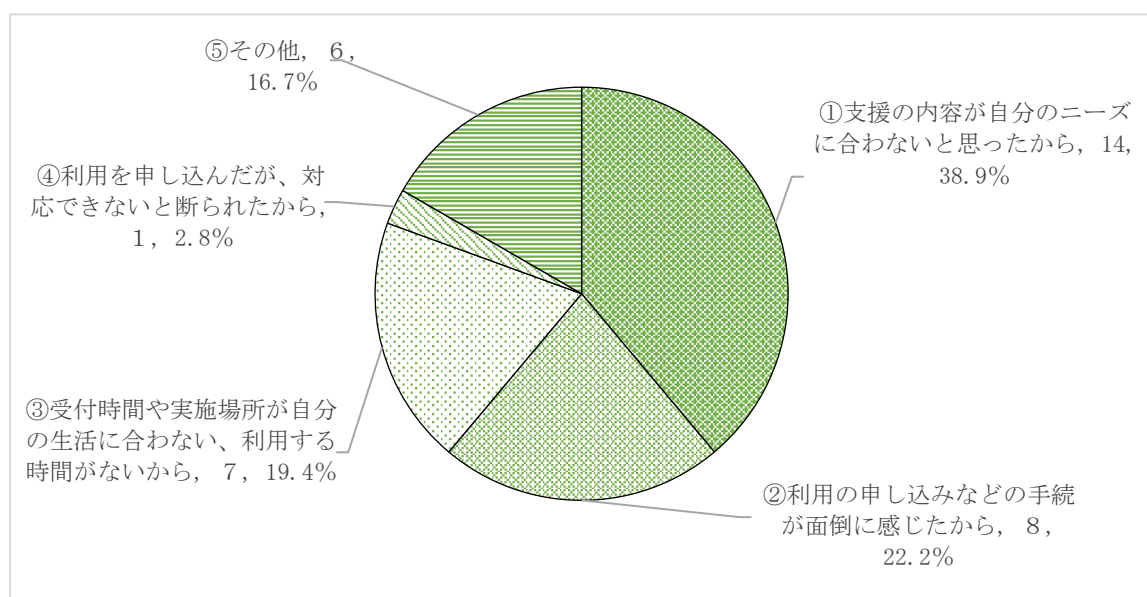
問 27 (問 25 で「支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている」(選択肢①)と回答した者に対し、「離婚前後家庭支援」を現在、利用していない、あるいはこれまでに利用したことがない方に伺います。利用しないと判断した理由はどのようなものですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。
※利用したことがある方、あるいは利用中の方は、無回答で構いません。

「離婚前後家庭支援」を知っているが利用しない理由としては、「支援の内容が自分のニーズに合わないと思ったから」(選択肢①)と回答した者が 38.9%と最も多かった。

N=36

(※「離婚前後家庭支援」を知っていると回答した 76 人から、本問の無回答者を除いた 36 人)

(単位：人、%)



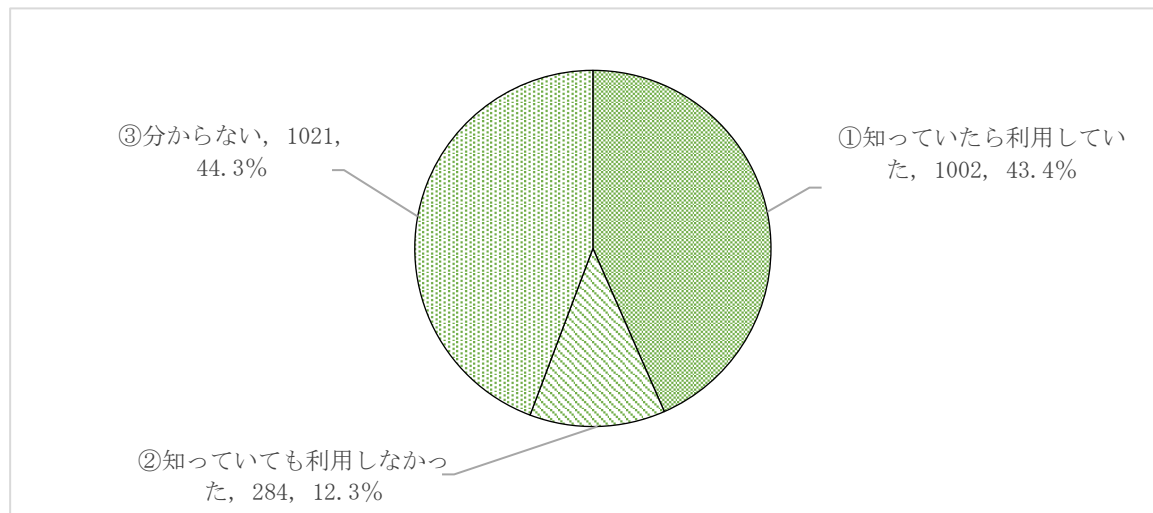
問 28 （問 25 で「名称は知っている、見たことがある」（選択肢②）又は「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」（選択肢③）と回答した者に対し、
支援の内容を知っていたら利用していたか教えてください。（1つだけ選択）

「離婚前後家庭支援」について、「名称は知っている、見たことがある」又は「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」と回答した 2,307 人が、もし同事業を知っていたら利用していたかどうかについては、「分からない」（選択肢③）が 44.3%と最も多かった。

N=2,307

（※全回答者 2,868 人のうち、「離婚前後家庭支援」を実施している市区町村に居住する 2,383 人の中で、
「名称は知っている、見たことがある」（選択肢②）と回答した 182 人＋「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」（選択肢③）と回答した 2,125 人の合計 2,307 人）

（単位：人、%）



イ 母子・父子自立支援プログラム

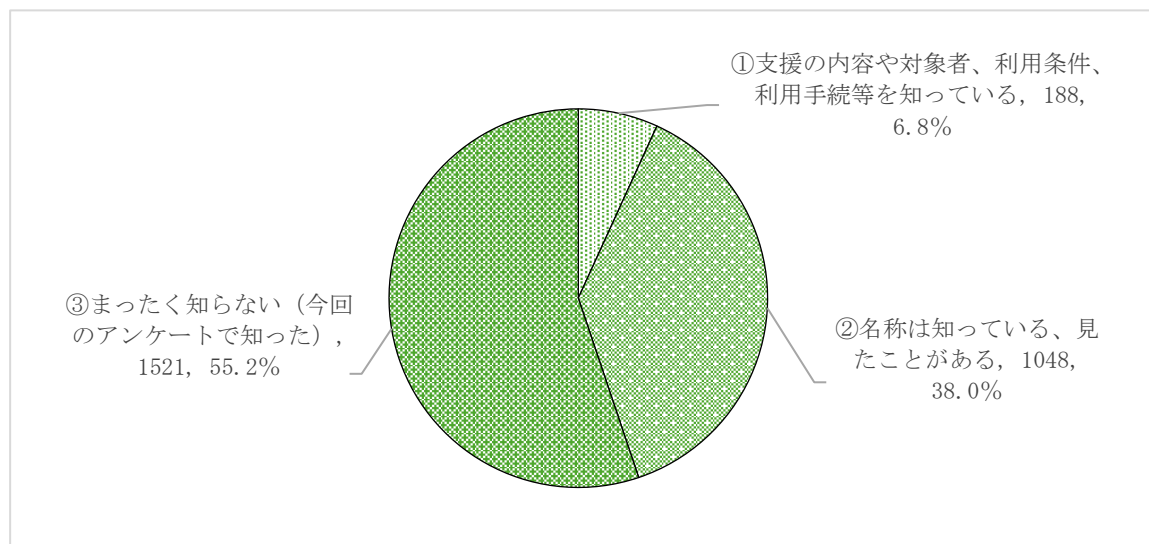
問 29 あなたは、「母子・父子自立支援プログラム」がどのような支援か、知っていましたか。（１つだけ選択）

「母子・父子自立支援プログラム」を実施している市区町村に居住するひとり親家庭等において、同事業の認知度については、「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」（選択肢③）と回答した者が 55.2%（回答者数 2,757 人のうちの 1,521 人）であった。

N=2,757

（※全回答者 2,868 人のうち、「母子・父子自立支援プログラム」を実施している市区町村に居住する 2,757 人）

（単位：人、％）

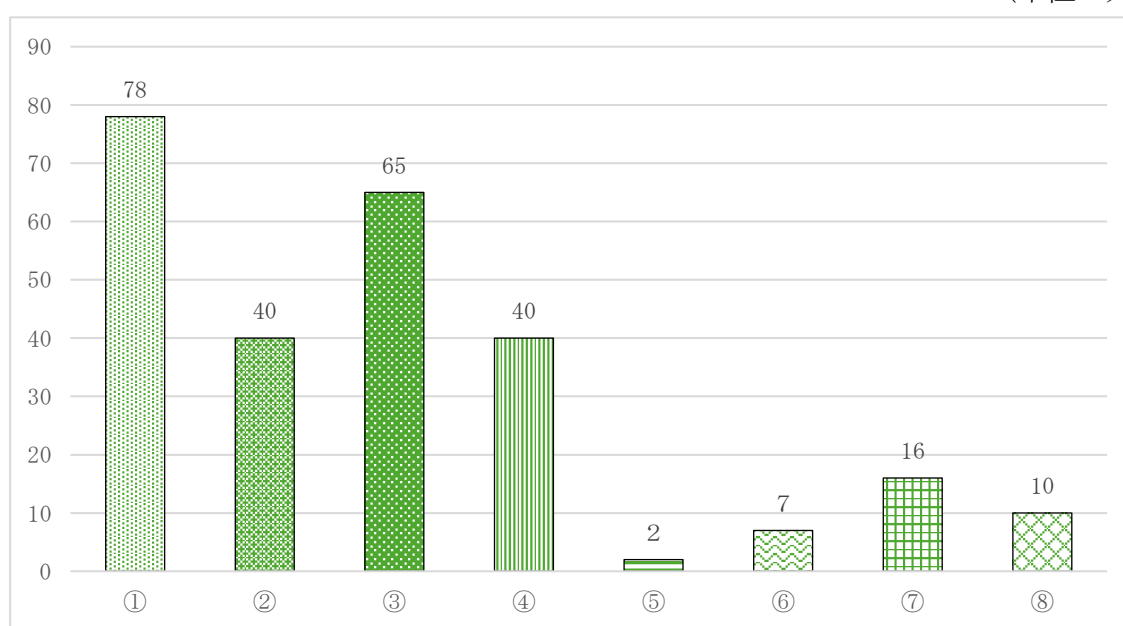


問 30 （問 29 で「支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている」（選択肢①）と回答した者に対し、）「母子・父子自立支援プログラム」について、どのような機会に知りましたか（複数選択可）

「母子・父子自立支援プログラム」を「知っている」と回答した 188 人が同事業を知ったきっかけとしては、「市区町村の職員との相談・面談」（選択肢①）が最も多く（回答者数 188 人のうちの 78 人）、次いで、「窓口などで配布されたパンフレットやチラシ（紙のもの）」（選択肢③）が多かった（同 65 人）。

N=188

（単位：人）



- ①市区町村の職員との相談・面談
- ②市区町村の広報誌（紙冊子のもの）
- ③窓口などで配布されたパンフレットやチラシ（紙のもの）
- ④市区町村ホームページ（電子データとして掲載されている広報誌やパンフレットも含む）
- ⑤市区町村の公式X、Instagram
- ⑥市区町村の公式LINE、メルマガ、公式アプリの配信
- ⑦家族・友人・知人の紹介
- ⑧その他

問 31 （問 29 で「支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている」（選択肢①）と回答した者に対し、）「母子・父子自立支援プログラム」を現在、利用していない、あるいはこれまでに利用したことがない方に伺います。利用しないと判断した理由はどのようなものですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。

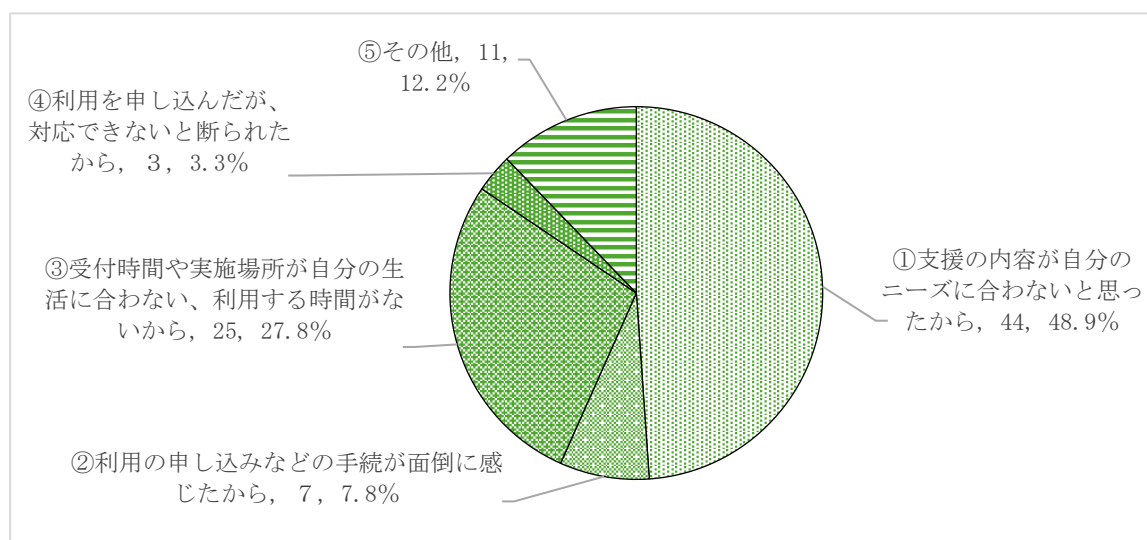
※利用したことがある方、あるいは利用中の方は、無回答で構いません。

「母子・父子自立支援プログラム」を知っているが利用しない理由としては、「支援の内容が自分のニーズに合わないと思ったから」（選択肢①）と回答した者が 48.9%と最も多かった。

N=90

（※「母子・父子自立支援プログラム」を知っていると回答した 188 人から、本問の無回答者を除いた 90 人）

（単位：人、％）



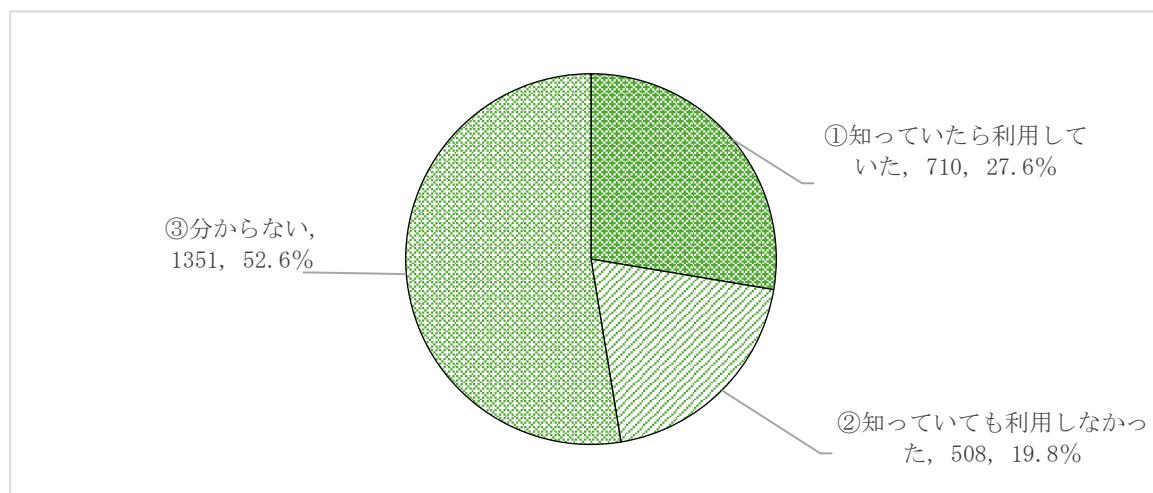
問 32 （問 29 で「名称は知っている、見たことがある」（選択肢②）又は「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」（選択肢③）と回答した者に対し、支援の内容を知っていたら利用していたか教えてください。（1つだけ選択）

「母子・父子自立支援プログラム」について、「名称は知っている、見たことがある」又は「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」と回答した2,569 人が、もし同事業を知っていたら利用していたかどうかについては、「分からない」（選択肢③）が 52.6%と最も多かった。

N=2,569

（※全回答者 2,868 人のうち、「母子・父子自立支援プログラム」を実施している市区町村に居住する 2,757 人の中で、「名称は知っている、見たことがある」（選択肢②）と回答した 1,048 人＋「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」（選択肢③）と回答した 1,521 人の合計 2,569 人）

（単位：人、%）



ウ ひとり親家庭等日常生活支援

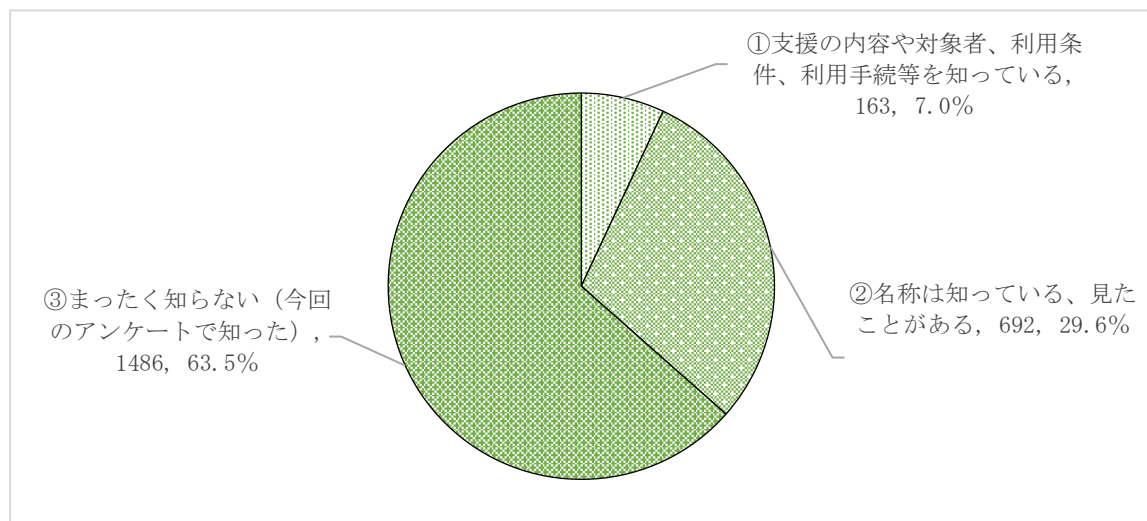
問 33 あなたは、「ひとり親家庭等日常生活支援」がどのような支援か、知っていましたか。（１つだけ選択）

「ひとり親家庭等日常生活支援」を実施している市区町村に居住するひとり親家庭等において、同事業の認知度については、「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」（選択肢③）と回答した者が 63.5%（回答者数 2,341 人のうちの 1,486 人）であった。

N=2,341

（※全回答者 2,868 人のうち、「ひとり親家庭等日常生活支援」を実施している市区町村に居住する 2,341 人）

（単位：人、％）

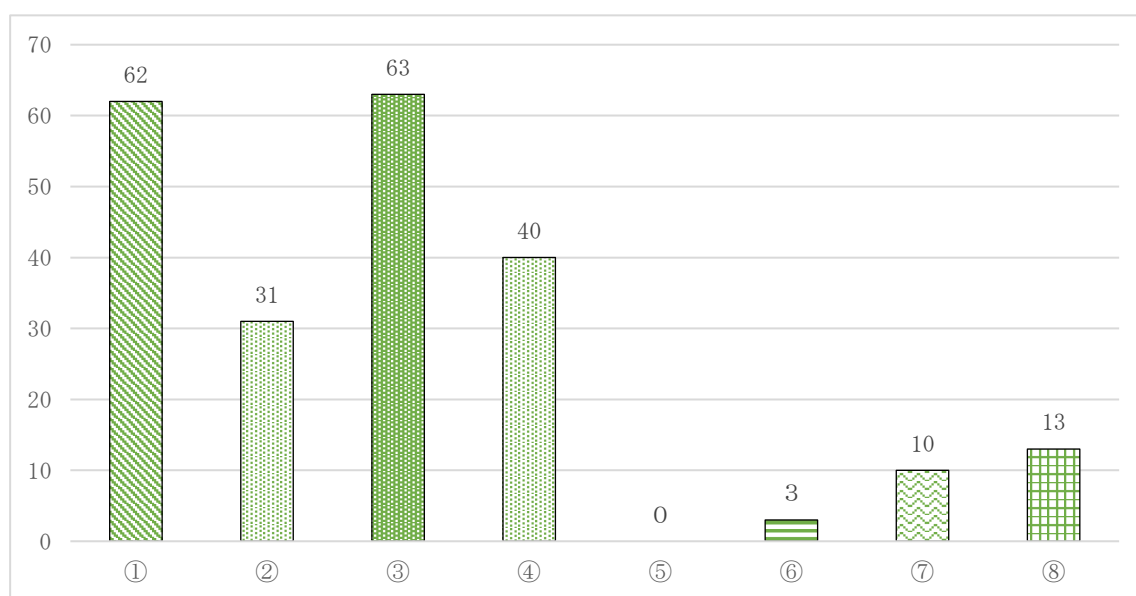


問 34 （問 33 で「支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている」（選択肢①）と回答した者に対し、）「ひとり親家庭等日常生活支援」について、どのような機会に知りましたか（複数選択可）

「ひとり親家庭等日常生活支援」を「知っている」と回答した 163 人が同事業を知ったきっかけとしては、「窓口などで配布されたパンフレットやチラシ（紙のもの）」（選択肢③）が最も多く（回答者数 163 人のうちの 63 人）、次いで、「市区町村の職員との相談・面談」（選択肢①）が多かった（同 62 人）。

N=163

（単位：人）



- ①市区町村の職員との相談・面談
- ②市区町村の広報誌（紙冊子のもの）
- ③窓口などで配布されたパンフレットやチラシ（紙のもの）
- ④市区町村ホームページ（電子データとして掲載されている広報誌やパンフレットも含む）
- ⑤市区町村の公式X、Instagram
- ⑥市区町村の公式LINE、メルマガ、公式アプリの配信
- ⑦家族・友人・知人の紹介
- ⑧その他

問 35 （問 33 で「支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている」（選択肢①）と回答した者に対し、）「ひとり親家庭等日常生活支援」を現在、利用していない、あるいはこれまでに利用したことがない方に伺います。利用しないと判断した理由はどのようなものですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。

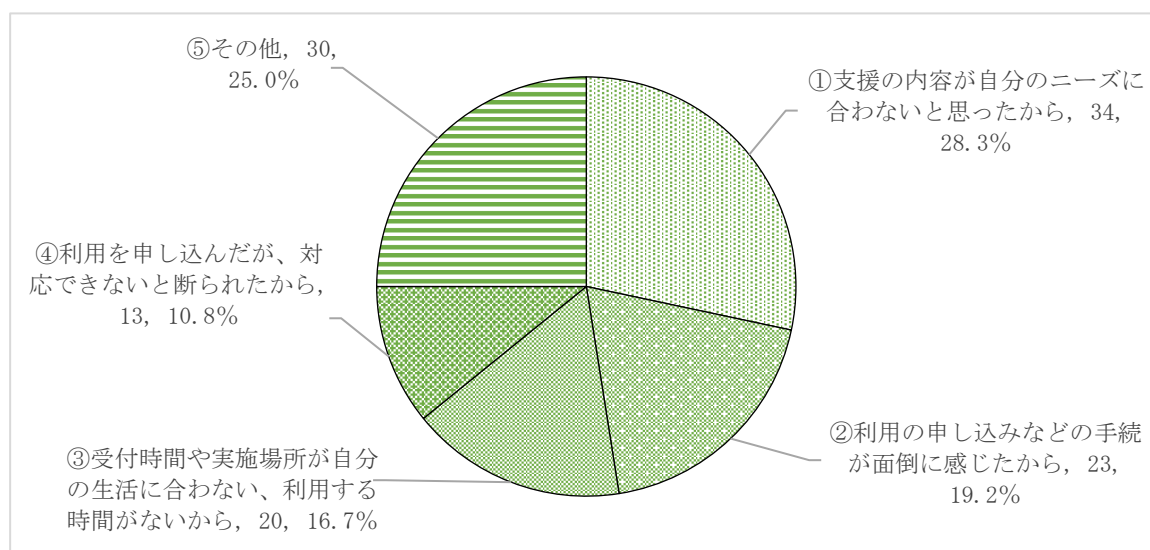
※利用したことがある方、あるいは利用中の方は、無回答で構いません。

「ひとり親家庭等日常生活支援」を知っているが利用しない理由としては、「支援の内容が自分のニーズに合わないと思ったから」（選択肢①）と回答した者が 28.3%と最も多かった。

N=120

（※「ひとり親家庭等日常生活支援」を知っていると回答した 163 人から、本問の無回答者を除いた 120 人）

（単位：人、％）



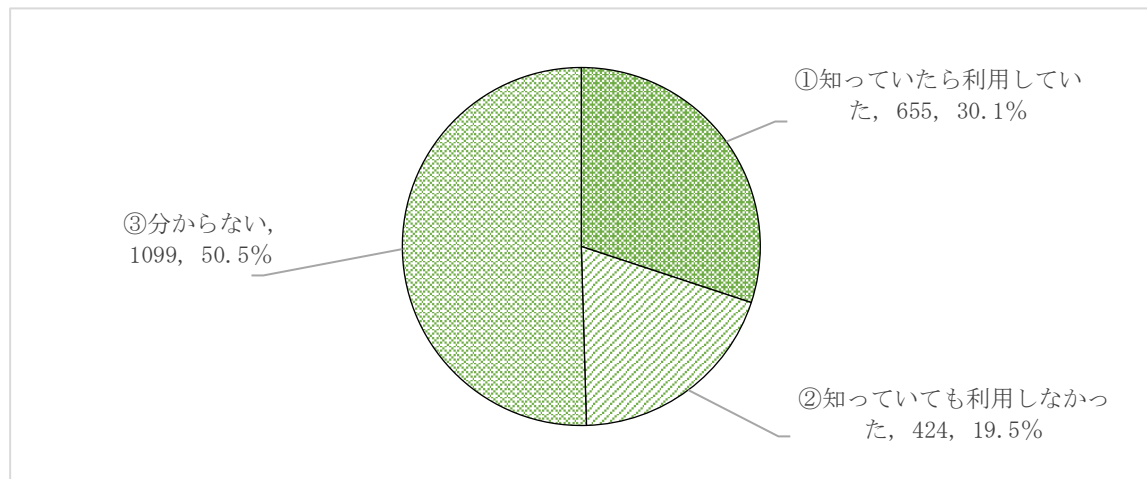
問 36 （問 33 で「名称は知っている、見たことがある」（選択肢②）又は「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」（選択肢③）と回答した者に対し、**支援の内容を知っていたら利用していたか教えてください。（1つだけ選択）**

「ひとり親家庭等日常生活支援」について、「名称は知っている、見たことがある」又は「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」と回答した 2,178 人が、もし同事業を知っていたら利用していたかどうかについては、「分からない」（選択肢③）が 50.5%と最も多かった。

N=2,178

（※全回答者 2,868 人のうち、「ひとり親家庭等日常生活支援」を実施している市区町村に居住する 2,341 人の中で、「名称は知っている、見たことがある」（選択肢②）と回答した 692 人＋「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」（選択肢③）と回答した 1,486 人の合計 2,178 人）

（単位：人、％）



エ こどもの生活・学習支援

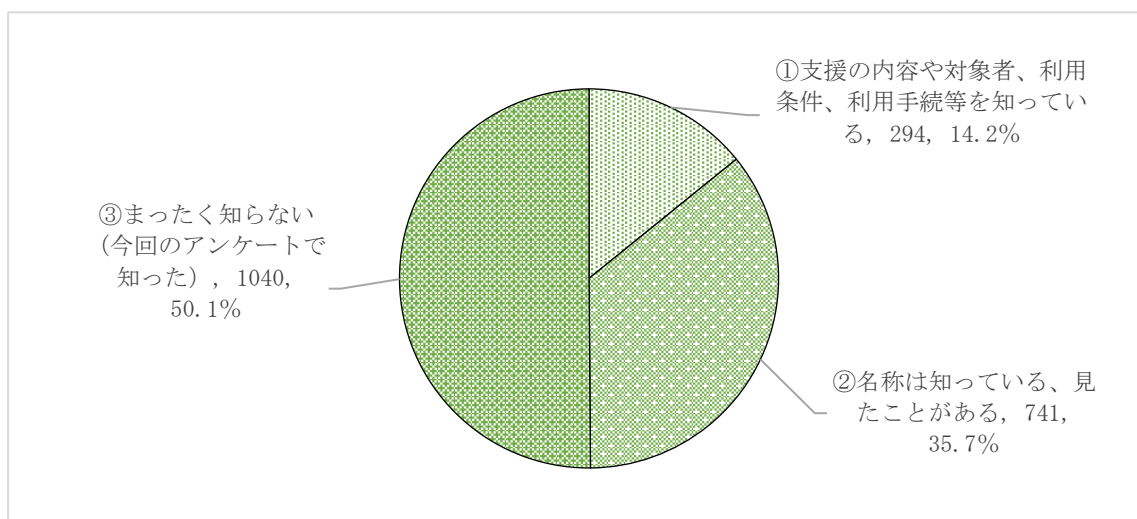
問 37 あなたは、「こどもの生活・学習支援」がどのような支援か、知っていましたか。（１つだけ選択）

「こどもの生活・学習支援」を実施している市区町村に居住するひとり親家庭等において、同事業の認知度については、「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」（選択肢③）と回答した者が約半数の 50.1%（回答者数 2,075 人のうちの 1,040 人）であった。

N=2,075

（※全回答者 2,868 人のうち、「こどもの生活・学習支援」を実施している市区町村に居住する 2,075 人）

（単位：人、%）

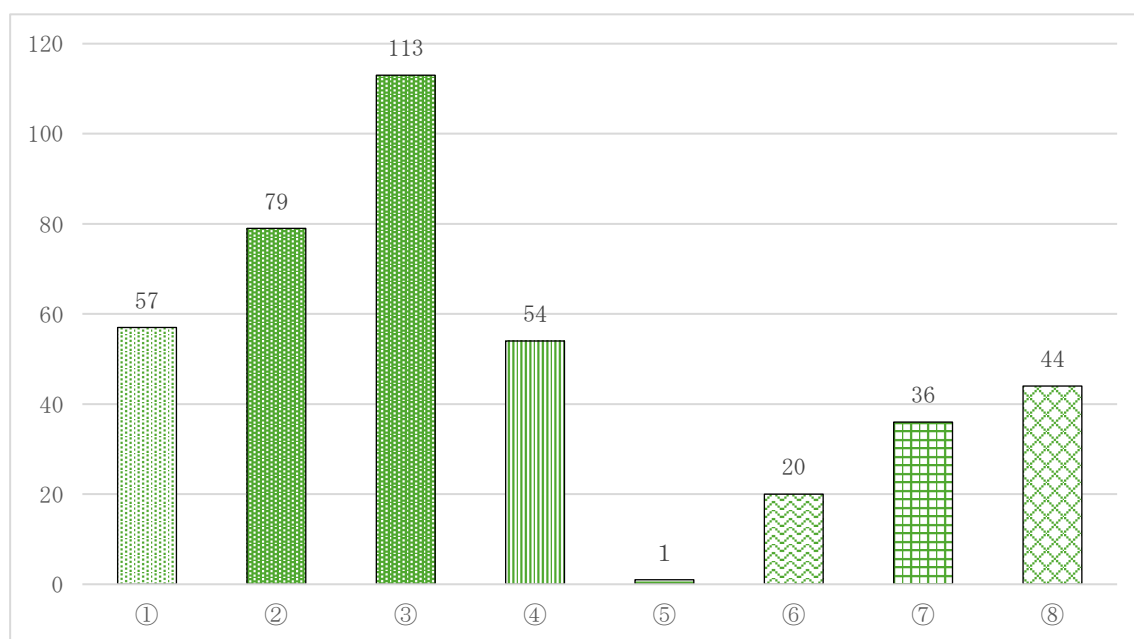


問 38 （問 37 で「支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている」（選択肢①）と回答した者に対し、）「こどもの生活・学習支援」について、どのような機会に知りましたか(複数選択可)

「こどもの生活・学習支援」を「知っている」と回答した 294 人が同事業を知ったきっかけとしては、「窓口などで配布されたパンフレットやチラシ（紙のもの）」（選択肢③）が最も多かった（回答者数 294 人のうちの 113 人）。

N=294

(単位：人)



- ①市区町村の職員との相談・面談
- ②市区町村の広報誌（紙冊子のもの）
- ③窓口などで配布されたパンフレットやチラシ（紙のもの）
- ④市区町村ホームページ（電子データとして掲載されている広報誌やパンフレットも含む）
- ⑤市区町村の公式X、Instagram
- ⑥市区町村の公式LINE、メルマガ、公式アプリの配信
- ⑦家族・友人・知人の紹介
- ⑧その他

問 39 （問 37 で「支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている」（選択肢①）と回答した者に対し、）「こどもの生活・学習支援」を現在、利用していない、あるいはこれまでに利用したことがない方に伺います。利用しないと判断した理由はどのようなものですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。

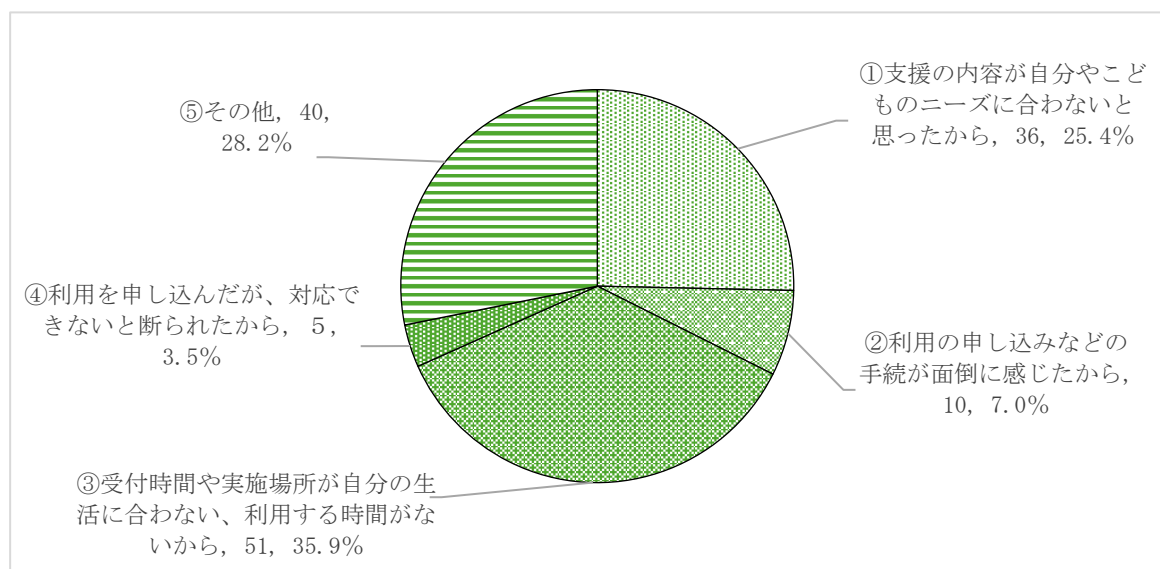
※利用したことがある方、あるいは利用中の方は、無回答で構いません。

「こどもの生活・学習支援」を知っているが利用しない理由としては、「受付時間や実施場所が自分の生活に合わない、利用する時間がないから」（選択肢③）と回答した者が 35.9%と最も多かった。

N=142

（※「こどもの生活・学習支援」を知っていると回答した 294 人から、本問の無回答者を除いた 142 人）

（単位：人、％）



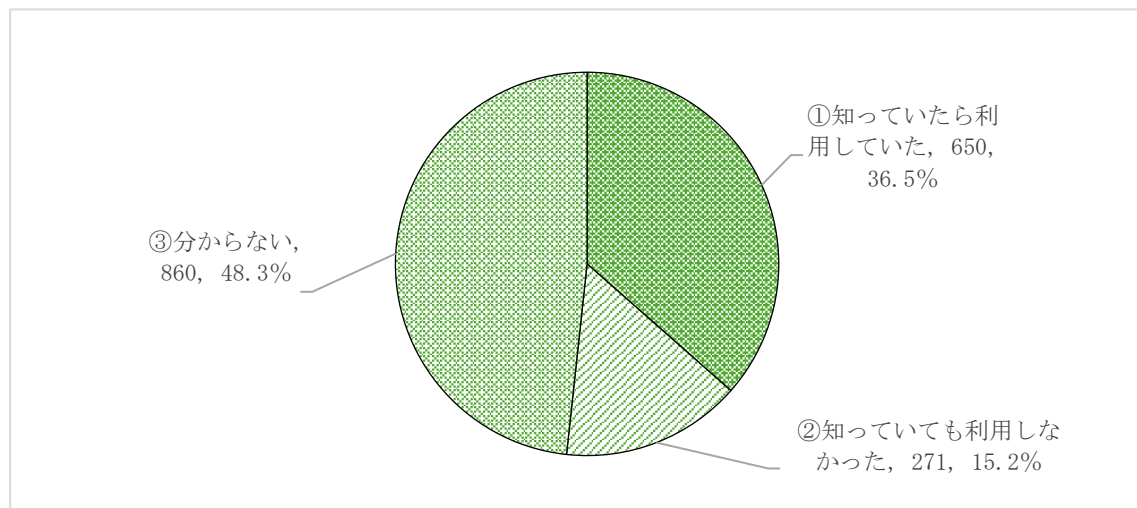
問 40 （問 37 で「名称は知っている、見たことがある」（選択肢②）又は「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」（選択肢③）と回答した者に対し、**支援の内容を知っていたら利用していたか教えてください。（1つだけ選択）**

「こどもの生活・学習支援」について、「名称は知っている、見たことがある」又は「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」と回答した 1,781 人が、もし同事業を知っていたら利用していたかどうかについては、「分からない」（選択肢③）が 48.3%と最も多かった。

N=1,781

（※全回答者 2,868 人のうち、「こどもの生活・学習支援」を実施している市区町村に居住する 2,075 人の中で、「名称は知っている、見たことがある」（選択肢②）と回答した 741 人＋「まったく知らない（今回のアンケートで知った）」（選択肢③）と回答した 1,040 人の合計 1,781 人）

（単位：人、％）



3 ひとり親家庭等インタビューの概要

○ 概要

令和7年11月から12月までの間に、ひとり親家庭等アンケートに回答があり、かつインタビューに協力する意向を示したひとり親家庭等の中から、ひとり親家庭等アンケートへの回答事項等を踏まえ選定した63人に対して実施した。その属性は以下のとおり。

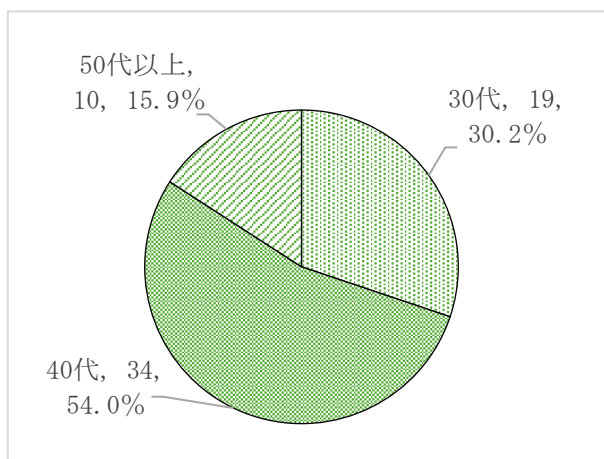
なお、インタビューの内容は、アンケートでの回答結果を踏まえて個々人によって異なっており、報告書の該当部分で適宜引用しているため、ここでは割愛する。

○ 居住自治体

調査対象 28 市区町村のうち、ひとり親家庭等アンケートへの協力が得られた 23 市区町村

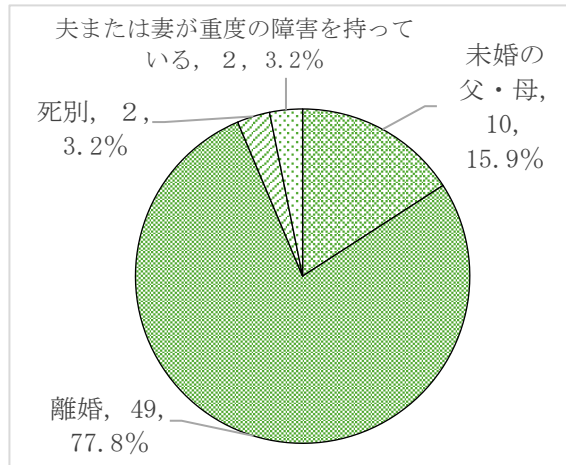
○ 年齢

(単位：人、%)



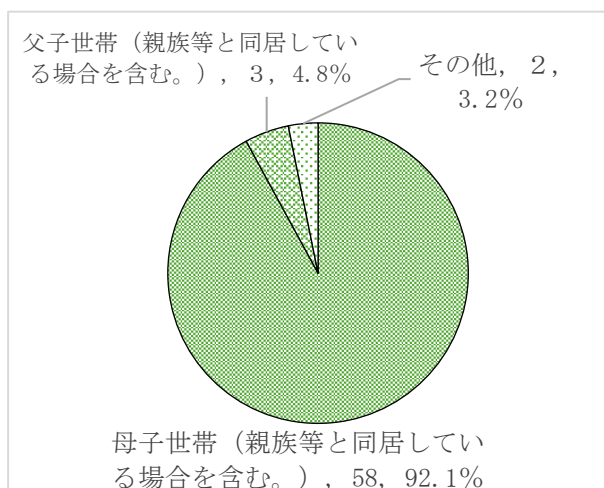
○ ひとり親（養育者等）になった理由

(単位：人、%)



○ ひとり親家庭等の種別

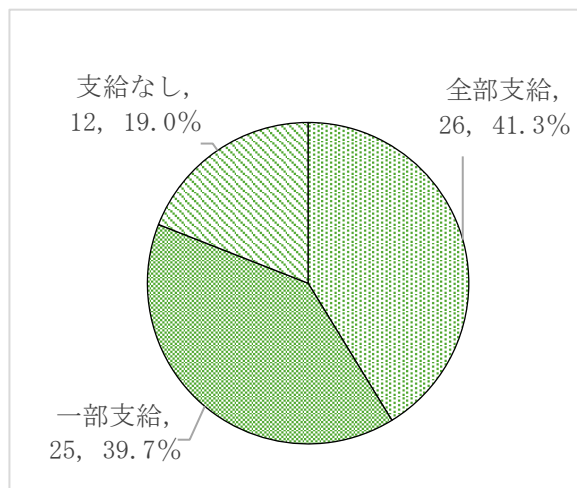
(単位：人、%)



○ 児童扶養手当の審査結果

(令和7年度の受給状況)

(単位：人、%)



【参考】ひとり親家庭等アンケート調査票

ひとり親家庭等 WEB アンケート（最大 34 問）

【ご回答いただくに当たって】

◆利用目的

ご回答いただいた内容は、行政がひとり親家庭の方々向けにさまざまな支援情報をお届けする際の効果的な方法の検討など、今後の支援を検討する目的にのみ用いるものであり、個人を特定できない形で集計又は加工し、上記目的の範囲内で利用します。

◆回答方法等について

特に期日を明記している設問以外はすべて、2025（令和 7）年 10 月 1 日時点の状況でお答えください。

回答中、「その他」を選択された場合には、空欄に内容を記載ください。

◆本アンケートの所要時間は、およそ 10 分程度となっております。お忙しいところ恐縮ではございますが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

◆問い合わせ先：総務省行政評価局評価監視官（財務・文部科学等担当）室

※ お住まいの市区町村にはお問い合わせしないようにお願いします。

◆本フォームでは、総務省が設定しているプライバシーポリシー（以下の URL）に基づき、ひとり親家庭等に関する情報の収集を行い、収集した情報は利用目的の範囲内で適切に取り扱います。

https://www.soumu.go.jp/menu_kyotsuu/policy/ms365policy.html

＜はじめに＞（11 問）

1. 現在のあなたの年齢を教えてください。（1 つだけ選択）

- ① 10 代
- ② 20 代
- ③ 30 代
- ④ 40 代
- ⑤ 50 代以上

2. あなたのご家庭は、どの世帯に当てはまりますか。（1 つだけ選択）

- ① 母子世帯（親族等と同居している場合を含む。）
- ② 父子世帯（ " ）

- ③ 養育者世帯（父母のいない子どもとその子どもにとっての祖父母など）
- ④ その他（夫または妻が重度の障害を持っているなど）

3. あなたがひとり親（養育者等）になった理由を教えてください。（1つだけ選択）

- ① 未婚の父・母
- ② 離婚
- ③ 死別
- ④ 遺棄・行方不明
- ⑤ 夫または妻が重度の障害を持っている
- ⑥ その他（ ）

4. あなたの雇用形態（収入の最も多い仕事）を教えてください。（1つだけ選択）

- ① 正規の会社員（従業員）・職員
- ② パート・アルバイト
- ③ 契約・嘱託・派遣社員
- ④ 会社などの役員
- ⑤ 自営業（雇用者あり）
- ⑥ 自営業（雇用者なし）・フリーランス
- ⑦ 家族従業者（農家や個人商店などで、家族の仕事を手伝っている）
- ⑧ 働いていない
- ⑨ その他（ ）

5. あなたの今回の児童扶養手当の審査結果を教えてください。（1つだけ選択）

- ① 全部支給（※「証書」のみが届いた方）
- ② 一部支給（※「証書」のほかに「支給停止通知」が届いた方）
- ③ 支給なし（※「支給停止通知」のみが届いた方）

6. あなたが養育している子どもに未就学児（0歳～小学校入学前）の子はいますか。（1つだけ選択）

- ① いる
- ② いない

7. あなたが養育している子どもに小学生の子はいますか。（1つだけ選択）

- ① いる
- ② いない

8. あなたが養育している子どもに中学生の子はいますか。（1つだけ選択）

- ① いる
- ② いない

9. あなたが養育しているこどもに中学校卒業後の子はいますか。(1つだけ選択)

- ① いる
- ② いない

10. あなたには、緊急的にこどもを預けたり、家事の手伝いを頼めたりできる人(同居している親族、近隣の友人など)はいますか。(1つだけ選択)

- ① いる
- ② いない

11. 普段の1日(平日)の生活の中で、テレビやスマホをくつろいで見られる時間、ご自分の趣味や調べ物をするなど自由に使える時間はどの程度あると感じていますか。(1つだけ選択)

- ① 1時間未満
- ② 1時間以上2時間未満
- ③ 2時間以上3時間未満
- ④ 3時間以上
- ⑤ 自由に使える時間は全くない

＜周知・広報について＞ (7問)

12. あなたがひとり親と**なったとき(当時)**に必要としていた情報はどのようなものでしたか。(複数選択可)

※必要とする情報がなかった場合や、覚えていない場合は、無回答で構いません。

- ① 児童扶養手当の請求手続
- ② お金に関する支援(児童扶養手当以外の医療費の補助や保育料の軽減など)
- ③ 仕事(仕事を見つける・転職する)に関する支援
- ④ 住居に関する支援
- ⑤ こどもの預け先(保育園・幼稚園・放課後児童クラブなど)
- ⑥ こどもの教育費や学習に関する支援
- ⑦ 養育費の確保・面会交流の取決めについての支援
- ⑧ 遺族年金の請求手続
- ⑨ その他()

13. あなたが、**現在**、必要としている情報はどのようなものですか。(複数選択可)

※必要とする情報がない場合は、無回答で構いません。

- ① お金に関する支援（児童扶養手当以外の医療費の補助や保育料の軽減など）
- ② 仕事（仕事を見つける・転職する）に関する支援
- ③ 住居に関する支援
- ④ こどもの預け先（保育園・幼稚園・放課後児童クラブなど）
- ⑤ 自分が病気や多忙なときの家事や育児の手伝いなどの支援
- ⑥ こどもの教育費や学習に関する支援
- ⑦ 養育費の確保・面会交流の取決めについての支援
- ⑧ 遺族年金の請求手続
- ⑨ その他（ ）

14. 普段、あなたがひとり親への支援（手当や給付金、就業支援や相談会・セミナーの開催など）に関する情報を得たいと思うときはどのように探しますか。（複数選択可）

※探す機会がない場合は、無回答で構いません。

- ① 市区町村の窓口（電話や直接訪問して）問い合わせる
- ② 広報誌（紙冊子のもの）を確認する
- ③ 市区町村が作成したひとり親支援についてのパンフレットやチラシ（紙のもの）を確認する
- ④ 市区町村のホームページ（電子データとして掲載されている広報誌やパンフレット、チャットボットを含む）を確認する
- ⑤ 市区町村の公式X、Instagramを確認する
- ⑥ 市区町村の公式LINEやメルマガ、アプリの配信内容を確認する
- ⑦ 子育て・ひとり親支援のNPOなどの団体に問い合わせたり、民間の子育て支援のホームページを確認する
- ⑧ こどもが通っている保育園や学校などに問い合わせる
- ⑨ 家族・友人・知人に相談する
- ⑩ その他（ ）

15. あなたは、ひとり親の方への支援に関して市区町村が行っている周知・広報について、どう思っていますか。（1つだけ選択）

- ① とても満足している
- ② やや満足している
- ③ やや不満である
- ④ とても不満である

16. 市区町村が作成しているひとり親支援に関するパンフレット（チラシ、リーフレット等含む。紙のもの）について、どのようなところを改善した方が良いと思いますか。（複数選択可）

※特に改善してほしいところがない場合は、無回答で構いません。

- ① 利用できる条件や金額の説明などをくわしく書いてほしい
- ② 専門的な用語が多いなど、説明が分かりづらいので、分かりやすく書いてほしい
- ③ こどもの年齢に応じた支援を順番で紹介するなど、情報を探しやすくしてほしい
- ④ 市区町村のホームページなどを確認することができるよう、QRコードを付けてほしい
- ⑤ 市区町村の窓口でしか受け取れないので、定期的を送ったり、市区町村の窓口以外の場所にも置いてほしい
- ⑥ 載っている情報が古いので、内容の更新をしてほしい
- ⑦ 住んでいる市区町村ではパンフレットを作っていない、パンフレットについて知らない
- ⑧ その他（ ）

17. ひとり親支援に関する情報が載っている市区町村のホームページについて、どのようなところを改善した方が良いと思いますか。（複数選択可）

※特に改善してほしいところがない場合は、無回答で構いません。

- ① 利用できる条件や金額の説明などをくわしく書いてほしい
- ② 専門的な用語が多いなど、説明が分かりづらいので、分かりやすく書いてほしい
- ③ 自分に必要な情報がどこに載っているか分からないので、探しやすくしてほしい
- ④ 関係する支援を探すときに不便なので、他の支援へのリンクを載せてほしい
- ⑤ 載っている情報が古いので、内容の更新をしてほしい
- ⑥ ホームページを見たことがない
- ⑦ その他（ ）

18. ひとり親支援に関する情報を配信する市区町村の公式LINEやメルマガ、アプリについて、どのようなところを改善した方が良いと思いますか。（複数選択可）

※特に改善してほしいところがない場合は、無回答で構いません。

- ① 利用できる条件や金額の説明などをくわしく書いてほしい
- ② 専門的な用語が多いなど、説明が分かりづらいので、分かりやすく書いてほしい
- ③ 1件ごとの文量が多く読みにくいので、文量を少なくしてほしい
- ④ 配信の回数を増やしてほしい
- ⑤ 配信の回数を減らしてほしい
- ⑥ 多くの情報を送るのではなく、ひとり親支援についての情報のみを送ってほしい
- ⑦ 情報を送るタイミング（給付金の支給時やこどもの就学時など）を絞ってほしい
- ⑧ 配信していることは知っているが、利用したことがない
- ⑨ 住んでいる市区町村では配信をしていない、配信しているか知らない
- ⑩ その他（ ）

＜児童扶養手当の現況届手続、相談について＞（最大4問、最小2問）

19. 児童扶養手当の現況届の提出について伺います。あなたは、どのような提出方法が望ましいと思いますか。（1つだけ選択）

- | | |
|-------------------|----------|
| ① 役所に訪問して対面で提出 | |
| ② 郵送で提出 | ⇒設問 22 へ |
| ③ 電子申請または電子メールで提出 | ⇒設問 22 へ |
| ④ その他（ ） | ⇒設問 23 へ |

20. あなたが、対面での提出が望ましいと思う理由を教えてください。（複数選択可）

- | |
|---|
| ① 書類の書き方や提出すべき書類が分からず、対面で相談しながら記載・提出したいから |
| ② 書類の修正や再提出をしたくない（1回の手続で終わらせたい）から |
| ③ 郵送や電子申請・電子メールで個人情報を送ることが嫌・不安だから |
| ④ 郵送や電子申請・電子メールで提出することが面倒だから |
| ⑤ 現況届の手続と併せて、日常生活への支援などさまざまな相談をしたいから |
| ⑥ その他（ ） |

21. あなたは、現況届を対面で提出するに当たって、市区町村に対して希望・要望はありますか。（複数選択可）

※特に希望・要望がない場合は、無回答で構いません。

- | |
|--|
| ① 対応時間を延長（平日夜間や土日でも対応が可能となるように）してほしい |
| ② 受付時間を予約できるようにしてほしい |
| ③ 受付場所を拡充（特設会場を設置するなど）してほしい |
| ④ 対面で手続している間にこどもを預かってほしい |
| ⑤ プライバシーに配慮した対面場所（別室を用意する、パーティションで仕切るなど）を整備してほしい |
| ⑥ 適切な職員・相談員（相談者と同性的人や、ひとり親支援に詳しい人など）を配置してほしい |
| ⑦ その他（ ） |

⇒設問 23 へ

22. あなたが、郵送または電子申請・電子メールでの提出が望ましいと思う理由を教えてください。（複数選択可）

- | |
|--|
| ① これまでと収入や生活状況に変化がなく、対面で提出する必要がないと思うから |
| ② 書き方や提出書類に不明なところがなく、対面で提出する必要がないと思うから |
| ③ 自分の都合に合わせて、時間を気にせずにいつでも提出できるから |
| ④ こどもの面倒をみながらでも提出できるから |
| ⑤ 役所に行くことが負担だから |

- ⑥ 対面で個人的な生活状況を質問されることがないから
- ⑦ 手続をしているところを、周囲に見られなくて済むから
- ⑧ その他（ ）

23. 市区町村で行っているひとり親支援に関する相談対応（現況届の提出の際に併せて実施される相談を含みます。）について伺います。あなたは、市区町村の相談対応について、どう思っていますか。（1つだけ選択）

- ① とても満足している
 - ② やや満足している
 - ③ やや不満である
 - ④ とても不満である
 - ⑤ 相談したことがない
- ⇒設問 25 へ

24. あなたは、市区町村の相談対応について、どのようなところを改善した方が良いと思いますか。（複数選択可）

※特に改善してほしいところがない場合は、無回答で構いません。

- ① 自分のニーズに合った具体的な提案をしてほしい
- ② 土日や夜間でも相談できるようにしてほしい
- ③ 相談しやすい場所（家や駅の近くなど）に相談窓口を開設してほしい
- ④ 電話やオンライン通話でも相談できるようにしてほしい
- ⑤ メールやチャット（LINE など）で時間を気にせず対応できるようにしてほしい
- ⑥ 相談している間に子どもを預かってほしい
- ⑦ プライバシーに配慮した相談場所（別室を用意する、パーティションで仕切るなど）を整備してほしい
- ⑧ 適切な相談員（相談者と同性的人や、ひとり親支援に詳しい人など）を配置してほしい
- ⑨ 市区町村の職員だけでなく、ハローワークや税務署、弁護士などとも連携して相談できるようにしてほしい
- ⑩ その他（ ）

＜離婚前後家庭支援について＞（最大3問、最小2問）

離婚前後家庭支援とは、離婚前後のご家庭に対して、養育費や親子交流の取決めについて考える機会を作るため、講座の開催や法律相談、支援に関する情報提供などの取組を行うものです。

くわしくはこちら＜離婚前後家庭支援（自治体 HP の URL）＞

25. あなたは、「離婚前後家庭支援」がどのような支援か、知っていましたか。（1つだけ選

択)

- | |
|---------------------------------------|
| ① 支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている ⇒設問 26 へ |
| ② 名称は知っている、見たことがある ⇒設問 28 へ |
| ③ まったく知らない（今回のアンケートで知った） ⇒設問 28 へ |

26. 「離婚前後家庭支援」について、どのような機会に知りましたか（複数選択可）

- | |
|--|
| ① 市区町村の職員との相談・面談 |
| ② 市区町村の広報誌（紙冊子のもの） |
| ③ 窓口などで配布されたパンフレットやチラシ（紙のもの） |
| ④ 市区町村ホームページ（電子データとして掲載されている広報誌やパンフレットも含む） |
| ⑤ 市区町村の公式 X、Instagram |
| ⑥ 市区町村の公式 LINE、メルマガ、公式アプリの配信 |
| ⑦ 家族・友人・知人の紹介 |
| ⑧ その他（ ） |

27. 「離婚前後家庭支援」を現在、利用していない、あるいはこれまでに利用したことがない方に伺います。利用しないと判断した理由はどのようなものですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。

※利用したことがある方、あるいは利用中の方は、無回答で構いません。

- | |
|------------------------------------|
| ① 支援の内容が自分のニーズに合わないと思ったから |
| ② 利用の申し込みなどの手続が面倒に感じたから |
| ③ 受付時間や実施場所が自分の生活に合わない、利用する時間がないから |
| ④ 利用を申し込んだが、対応できないと断られたから |
| ⑤ その他（ ） |

⇒設問 29 へ

28. 支援の内容を知っていたら利用していたか教えてください。（1つだけ選択）

- | |
|-----------------|
| ① 知っていたら利用していた |
| ② 知っていても利用しなかった |
| ③ 分からない |

＜母子・父子自立支援プログラムについて＞（最大3問、最小2問）

母子・父子自立支援プログラムとは、ひとり親からの相談を受け付け、それぞれのひとり親の目指したい年収などの希望に合わせ、就職・転職のための資格取得などに向けたプログラム（計画）を作り、求職活動の支援や就職後のフォローなどを行うものです。

くわしくはこちら＜母子・父子自立支援プログラム（自治体 HP の URL）＞

29. あなたは、「母子・父子自立支援プログラム」がどのような支援か、知っていましたか。（１つだけ選択）

- ① 支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている ⇒設問 30 へ
- ② 名称は知っている、見たことがある ⇒設問 32 へ
- ③ まったく知らない（今回のアンケートで知った） ⇒設問 32 へ

30. 「母子・父子自立支援プログラム」について、どのような機会に知りましたか（複数選択可）

- ① 市区町村の職員との相談・面談
- ② 市区町村の広報誌（紙冊子のもの）
- ③ 窓口などで配布されたパンフレットやチラシ（紙のもの）
- ④ 市区町村ホームページ（電子データとして掲載されている広報誌やパンフレットも含む）
- ⑤ 市区町村の公式 X、Instagram
- ⑥ 市区町村の公式 LINE、メルマガ、公式アプリの配信
- ⑦ 家族・友人・知人の紹介
- ⑧ その他（ ）

31. 「母子・父子自立支援プログラム」を現在、利用していない、あるいはこれまでに利用したことがない方に伺います。利用しないと判断した理由はどのようなものですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。

※利用したことがある方、あるいは利用中の方は、無回答で構いません。

- ① 支援の内容が自分のニーズに合わないと思ったから
- ② 利用の申し込みなどの手続が面倒に感じたから
- ③ 受付時間や実施場所が自分の生活に合わない、利用する時間がないから
- ④ 利用を申し込んだが、対応できないと断られたから
- ⑤ その他（ ）

⇒設問 33 へ

32. 支援の内容を知っていたら利用していたか教えてください。（１つだけ選択）

- ① 知っていたら利用していた
- ② 知っていても利用しなかった
- ③ 分からない

＜ひとり親家庭等日常生活支援について＞（最大３問、最小２問）

ひとり親家庭等日常生活支援とは、ひとり親家庭の方が病気の時や多忙で家事ができ

ないなど、日常生活にお困りの場合に、家庭生活支援員（ヘルパー）を派遣して、家事や保育のお手伝いなどを行うものです。

くわしくはこちらくひとり親家庭等日常生活支援（自治体 HP の URL）>

33. あなたは、「ひとり親家庭等日常生活支援」がどのような支援か、知っていましたか。
（１つだけ選択）

- | |
|---------------------------------------|
| ① 支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている ⇒設問 34 へ |
| ② 名称は知っている、見たことがある ⇒設問 36 へ |
| ③ まったく知らない（今回のアンケートで知った） ⇒設問 36 へ |

34. 「ひとり親家庭等日常生活支援」について、どのような機会に知りましたか（複数選択可）

- | |
|--|
| ① 市区町村の職員との相談・面談 |
| ② 市区町村の広報誌（紙冊子のもの） |
| ③ 窓口などで配布されたパンフレットやチラシ（紙のもの） |
| ④ 市区町村ホームページ（電子データとして掲載されている広報誌やパンフレットも含む） |
| ⑤ 市区町村の公式 X、Instagram |
| ⑥ 市区町村の公式 LINE、メルマガ、公式アプリの配信 |
| ⑦ 家族・友人・知人の紹介 |
| ⑧ その他（ ） |

35. 「ひとり親家庭等日常生活支援」を現在、利用していない、あるいはこれまでに利用したことがない方に伺います。利用しないと判断した理由はどのようなものですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。

※利用したことがある方、あるいは利用中の方は、無回答で構いません。

- | |
|------------------------------------|
| ① 支援の内容が自分のニーズに合わないと思ったから |
| ② 利用の申し込みなどの手続が面倒に感じたから |
| ③ 受付時間や実施場所が自分の生活に合わない、利用する時間がないから |
| ④ 利用を申し込んだが、対応できないと断られたから |
| ⑤ その他（ ） |

⇒設問 37 へ

36. 支援の内容を知っていたら利用していたか教えてください。（１つだけ選択）

- | |
|-----------------|
| ① 知っていたら利用していた |
| ② 知っていても利用しなかった |
| ③ 分からない |

＜こどもの生活・学習支援について＞（最大3問、最小2問）

こどもの生活・学習支援とは、ひとり親家庭等のこどもに対して、児童館・公民館・こども食堂等で、学習・就学支援、軽食の提供等の支援を行うものです。

くわしくはこちらくこどもの生活・学習支援（自治体 HP の URL）＞

37. あなたは、「こどもの生活・学習支援」がどのような支援か、知っていましたか。（1つだけ選択）

- ① 支援の内容や対象者、利用条件、利用手続等を知っている ⇒設問 38 へ
- ② 名称は知っている、見たことがある ⇒設問 40 へ
- ③ まったく知らない（今回のアンケートで知った） ⇒設問 40 へ

38. 「こどもの生活・学習支援」について、どのような機会に知りましたか（複数選択可）

- ① 市区町村の職員との相談・面談
- ② 市区町村の広報誌（紙冊子のもの）
- ③ 窓口などで配布されたパンフレットやチラシ（紙のもの）
- ④ 市区町村ホームページ（電子データとして掲載されている広報誌やパンフレットも含む）
- ⑤ 市区町村の公式 X、Instagram
- ⑥ 市区町村の公式 LINE、メルマガ、公式アプリの配信
- ⑦ 家族・友人・知人の紹介
- ⑧ その他（ ）

39. 「こどもの生活・学習支援」を現在、利用していない、あるいはこれまでに利用したことがない方に伺います。利用しないと判断した理由はどのようなものですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。

※利用したことがある方、あるいは利用中の方は、無回答で構いません。

- ① 支援の内容が自分やこどものニーズに合わないと思ったから
- ② 利用の申し込みなどの手続が面倒に感じたから
- ③ 受付時間や実施場所が自分の生活に合わない、利用する時間がないから
- ④ 利用を申し込んだが、対応できないと断られたから
- ⑤ その他（ ）

⇒設問 41 へ

40. 支援の内容を知っていたら利用していたか教えてください。（1つだけ選択）

- ① 知っていたら利用していた
- ② 知っていても利用しなかった
- ③ 分からない

＜その他＞（2問）

41. 今回のアンケートで取り上げた「離婚前後家庭支援」、「母子・父子自立支援プログラム」、「ひとり親家庭等日常生活支援」、「こどもの生活・学習支援」の4つの支援について、使い勝手などについて感じていることや、こういう支援にしてほしいなどの意見がありましたら教えてください。

※特にない場合は、無回答で構いません。

--

42. あなたが普段の生活の中で困難・大変だと感じていることや、子育てで尽力していることなどありましたら、ご自由に記載ください。

※特にない場合は、無回答で構いません。

--

＜お願い＞（最大3問、最小1問）

総務省行政評価局では、本アンケートのご回答の内容に基づきまして、電話やオンライン、または対面でのインタビューにご協力いただける方を募集しています。インタビューでご回答いただいた内容については、本アンケート等の結果を取りまとめた報告書の中で、匿名でのご意見としてご紹介させていただく場合がございます。

なお、インタビューにご協力いただいた場合には、わずかながらではありますが、謝礼も準備しております。

43. インタビューにご協力いただけますか。

- | |
|--------------|
| 1 協力できる |
| 2 協力できない ⇒終了 |

44. インタビューにご協力いただける方は、メールアドレスまたは電話番号を記載ください。ご連絡先を記載いただいた方の中から選考ののち、総務省行政評価局からご連絡し、あらためて、インタビューに関するご説明・ご依頼をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。なお、選定させていただいた方のみにご連絡いたしますことをご了承ください。

--

※記載いただいたメールアドレス等は、本依頼以外には使用しません。

※電話番号を書かれる場合は、行政評価局からの連絡に対応可能な時間帯も合わせて記載

ください。

45. インタビューの対応可能な曜日・時間帯を記入ください

--

アンケートは以上となります。

貴重なお時間を割いてのご協力、誠にありがとうございました。